

●NEW MODEL

ヤマハスポーツ

TZR50 FZR250R

TZR250/SP仕様

ヤマハ
スクーター

90'S NEW JOG

特集

ゼロハンスポーツ新時代

フルサイズ**50cc**の魅力



個性、自由自在。オリジナルブルゾンが手軽に作れる画期的システム

ヤマハスーパーマーキングシステム

ヤマハ春夏用ブルゾン“RM100”をベースに、ダイヤクロス、ワッペン、プリントの3つのマーキングにより両袖や胸、背中にオリジナルデザインのチーム名や店名を入れることのできる、画期的なオーダーシステムです。

注文単位は最低5着分よりOK。しかもデザインは3年間保管するうえ、追加オーダーは1着分より受けますので、クラブ員の増加などに

も速やかに対応します。さらに、4つのオーダーバリエーションが揃ったローコストのセミオーダーシステムと、オリジナルティをフルに活かせるフルオーダーシステムも用意。

お店のクラブのユニフォームに、またお客さま同志のメンバーズウェアとして、ぜひこのスーパーマーキングシステムをご活用ください。



オリジナルロゴのデザインと注文が簡単にできるオーダーシートを用意しました。



スーパーマーキングシステムを解りやすく説明したパンフレットをご活用ください。

フルサイズ・スーパーフィフティ登場!

ヤマハスポーツ

TZR50

2月14日
新発売

メーカー希望小売価格：¥269,000（北海道、沖縄および一部離島を除く）

※価格には保険料、税金（含む消費税）、登録にともなう諸費用は含まれません。

カラーリング：ホワイト/ファインレッド、ヤマハブラック

250cc、400ccクラスの本格派スポーツバイクに直結する操作感。スポーツマインドをくすぐる50ccフルサイズモデル初のフルフェアリング。そして先に発表され、二輪専門各誌から絶賛をあびたコンペティションモデルTZR50との同時開発による車体各部に施された機構と装備。まさに、50ccスポーツ新時代を

築くにふさわしいニューモデルの登場です。フルサイズならではのメリットを最大限に活かしながらヤングのレーシーマインドをも満足させるこの『TZR50』で、スポーツバイク底辺需要の大幅拡大をお図りください。
※なお詳しくは本誌特集（P10～17）をご覧ください。



■TZR50仕様諸元

●全長1875mm ●全幅600mm ●全高1025mm ●シート高760mm ●軸間距離1250mm ●最低地上高130mm ●乾燥重量83kg ●舗装平坦路燃費80km/ℓ(30km/h) ●最小回転半径2.8m ●制動停止距離3.5m(20km/h) ●エンジン2サイクル・水冷・ピストンリードバルブ・単気筒・49cc ●内径×行程40.0mm×39.7mm ●圧縮比8.2:1 ●最高出力7.2ps/9000rpm ●最大トルク0.65kg-m/7500rpm ●始動方式キック式 ●潤滑方式分離給油(ヤマハオートループ) ●オイル容量1.1ℓ ●エレメント種類湿式ウレタンフォーム ●燃料タンク容量10ℓ ●キャブレター型式VM16SS ●点火方式C.D.I ●点火プラグ型式BR8ES、BR9ES ●バッテリー容量12V3Ah(10Hr) ●1次減速(比)ギヤ(3.579) ●2次減速(比)チェーン(3.916) ●クラッチ湿式多板 ●変速機常時噛合式前進6段左足動リターン式 ●フレーム鋼管ダブルクレードル ●キャスト24°30' ●トレール78mm ●タイヤサイズ(前)80/90-16 43P(後)90/90-17 49P ●制動装置(前)油圧式シングルディスク(前後とも) ●ディスク有効径219mm(後)172mm ●懸架装置(前)テレスコピック(後)スイングアーム ●緩衝方式(前)オイルダンパー、コイルスプリング(後)ガス、オイルダンパー、コイルスプリング ●ホイールトラベル(前)130mm(後)100mm ●ヘッドランプ12V30W/30Wバルブ着脱式(キセノン) ●テールランプ12V5W×1 ●ストップランプ12V21W×1 ●フラッシャーランプ12V10W×4 ●メーター速度計、回転計、水温警告灯

ボルトオンパーツを
おすすめください

通学や通勤のお客さまに欠かせないリヤキャリアとメンテナンスに便利なレシーングスタンドを用意。本体とセットでおすすめてください。





TZR50ご購入のお客さまにもれなくプレゼント 3月末日まで

愛車のメンテナンスに最適 グルーミングセット

オートバイのメンテナンス用ケミカルとして好評を集めるヤマハケミカルMEシリーズを、おしゃれなケースに納めたTZR50オリジナル・グルーミングセットを、3月末日までにTZR50ご購入のお客さま全員に、もれなくプレゼントします。TZR50拡販のフックとして、店頭での話題を盛り上げてください。



＜セット内容＞●バイクシャンプー●バイクワックス●プラスチッククリーナー●防錆潤滑剤●シールチェーンオイル●洗車用スポンジ●セーム皮



4揃ってクオリティアップ

卓越の操縦性+最新フォルム **FZR250R**

ヤマハスポーツ

2月6日
新発売

メーカー希望小売価格：¥599,000

(北海道、沖縄および一部離島を除く)

※価格には保険料、税金(含む消費税)、登録にともなう諸費用は含まれません。

カラーリング：シルキーホワイト/アップルレッド、ニューブラックブルー/ミッドナイトシルバー



シルキーホワイト/アップルレッド

国内スポーツモデルの最大マーケットとなっている4サイクル250cc市場にあって、不変の人気を誇るFZR250Rが、定評の扱いやすさと商品性にさらなる磨きをかけました。

まず、パワーユニット関係では、細部の見直しにより中低速レスポンスを大幅に向上させた他、ブラッククロームメッキ仕上げのマフラーを採用し斬新な外観を強調するとともに軽量化も実現。さらに

カートリッジ式オイルエレメントの採用により整備性も向上させています。

また車体関係ではアルミ製デルタボックスフレームに化学研磨アルマイト処理を施すとともに剛性アップを図ったのはじめ、FZR400RRと同様、デュアルビーム・プロジェクターハロゲンヘッドライトをダブルで装備。リアビューも8耐マシンYZF750と同じデザインの角型2灯式テールライトで引き締めています。



ニューブラックブルー/ミッドナイトシルバー

SP仕様も同時発売

一部離島を除く
ません。

ています。

用
の採用
ヨンの採用

付き倒立フォーク
きリヤクッション
の採用。
製「ライディーン」
ンプラーの採用。

国内1000台限定発売



■FZR250R仕様諸元

●全長1990mm●全幅685mm●全高1100mm●シート高735mm●軸間距離1375mm●最低地上高140mm●乾燥重量146kg●舗装平坦路燃費48.0km/ℓ(50km/h)●最小回転半径3.0m●制動停止距離14.0m(50km/h)●エンジン4サイクル・水冷・DOHC・4バルブ・並列4気筒、249cc●内径×行程48.0mm×34.5mm●圧縮比12.0:1●最高出力45ps/16000rpm●最大トルク2.5kg-m/12000rpm●始動方式セル式●潤滑方式強制圧送ウェットサンプ●エンジンオイル容量2.7ℓ●エレメント不織布●燃料タンク容量14ℓ●キャブレターBDST28×4●点火方式フルトランジスタ●点火プラグCR8E、U24ESR-N、CR9E、U27ESR-N●バッテリー容量12V10Ah●1次減速(比)ギヤ(2.542)●2次減速(比)チェーン(3.294)●クラッチ湿式多板●変速機常時噛合式前進6段左足動リターン式●フレームプレスバックボーン・アルミデルタボックス●キャスト24°30'●トレール87mm●タイヤサイズ(前)100/80-17 52H(後)130/70-17 62H●制動装置(前)油圧式ダブルディスク(後)油圧式シングルディスク●ディスク有効径(前)250mm(後)178mm●懸架装置(前)テレスコピック(後)スイングアーム●緩衝方式オイルダンパー、コイルスプリング(前後とも)●ホイールラベル(前)130mm(後)117mm●ヘッドランプ12V55W/40W×2バルブ着脱式(ハロゲン)●マーカーランプ12V 3.4W×2●テールランプ/ストップランプ12V 5W×2/21W×2●フラッシャーランプ12V 10W×2●メーター速度計、回転計、水温計

好評レーシークォーター2~4

走りのクオリティ大幅アップ TZR250

ヤマハスポーツ

2月14日
新発売

メーカー希望小売価格：¥619,000

(北海道、沖縄および一部離島を除く)

※価格には保険料、税金(含む消費税)、登録にともなう諸費用は含まれません。

カラーリング：ライトシアンソリッド1/ヤマハブラック、シルキーホワイト/パッションレッド、フェザーブラック

コンペティションモデルTZR250を彷彿するスタイリングと後方ストレート排気のニューエンジンで'89年2サイクルクォーター市場に新風を吹き込んだTZR250が一新しました。

'89モデルをベースとしながら、新設計TMキャブレター、2ウェイコントロールY.P.V.Sの採用をはじめとするエンジン各部の見直しにより、2サイクルならではの胸のすく加速感と、全回転域にわたる扱いやすさを実現。

さらに倒立式フロントフォークやトラスリヤームの新採用で定評の操縦安定性にも一層の磨きをかけました。どうぞ、レーシートレンドの最先端を行くポテンシャルを身につけたこのニューTZR250で、さらなる需要喚起をお願いします。



ライトシアンソリッド1/ヤマハブラック



フェザーブラック



シルキーホワイト/パッションレッド

■FZR250R仕様諸元(()内はSP仕様)

●全長2040mm●全幅695mm●全高1100mm●シート高760mm●軸間距離1380mm●最低地上高130mm●乾燥重量138kg●舗装平坦路燃費40km/ℓ(50km/h) [41km/ℓ(50km/h)]●最小回転半径3.1m●制動停止距離14m(50km/h)●最小回転半径3.1m●制動停止距離14m(50km/h)●エンジン2サイクル・水冷・クランク室リードバルブ・並列2気筒、249cc●内径×行程56.0mm×50.7mm●圧縮比7.4:1(8.0:1)●最高出力45ps/9500rpm●最大トルク3.8kg-m/8000rpm●始動方式キック●潤滑方式分離給油(ヤマハオートループ)●オイル容量1.4ℓ●エレメント湿式ウレタンフォーム●燃料タンク容量16ℓ●キャブレター型式TM30SS(TM34SS)●点火方式C.D.I●点火プラグ型式BR9ES●バッテリー容量12V3Ah(10H)●1次減速(比)ギヤ(2.440)●2次減速(比)チェーン(3.071)●クラッチ湿式多板(乾式多板)●変速機常時噛合式前進6段左足動リターン式●フレームアルミデルタボックス セミダブルクレードル●キャスト25°00'●トレール94mm●タイヤサイズ(前)110/70R17-54H(後)140/60R18-64H(150/60R18-67H)●制動装置(前)油圧式ダブルディスク(後)油圧式シングルディスク●ディスク有効径(前)250mm(後)177mm●懸架装置(前)テレスコピック(後)スイングアーム●緩衝方式オイルダンパー、コイルスプリング(後)ガス、オイルダンパー、コイルスプリング●ホイールトラベル(前)125mm(後)120mm●ヘッドランプ12V60W/55Wバルブ脱着式(ハロゲン)●フラッシャーランプ12V10W×4●テールランプ/ストップランプ12V5W/21W●メーター速度計、回転計、水温計

サーキットで真価を発揮 TZR250-SP仕様

メーカー希望小売価格：¥719,000(北海道、沖縄および一部離島を除く)

※価格には保険料、税金(含む消費税)、登録にともなう諸費用は含まれません。

カラーリング：シルキーホワイト/ファインレッド

主な特徴 (TZR250との相違点)

■パワーユニット

●スポーツ走行、高速連続走行においても性能を安定して引き出せるよう新作シリリンダー、キリ孔クランクを採用。またヘッドシリリンダーは整備性の向上を図るため別体タイプとしています。
●中高速域で十分な混合気を供給するために、φ34mmの大径TMキャブレターを採用。これにあわせて圧縮比は「TZR250」の7.2:1に対し、8.0:1のハイコンプ

レクションを設定しています。

●乾式クラッチの採用

●大型ラジエーターの採用

●6速クロスミッションの採用

■車体関係

●伸・圧減衰調整機構付き倒

●圧減衰調整機構付きリヤサ

●リヤ4.50×18リムの採用。

●日本ダンロップ社製「ライ

●タイヤを前後に装着。

●ワンタッチ式チェーンブ

90'S NEW JOG

2月1日
新発売

メーカー希望小売価格：¥126,000

(北海道、沖縄および一部離島を除く)

※価格には保険料、税金(含む消費税)、登録にともなう諸費用は含まれません。

カラーリング：ブラック2/ヤマハブラック/ホワイトカクテル1/ソリッドファインシルバー、
ダイナスティブルー/ソリッドシルキーホワイト



スポーティなエアロフォルムに俊敏な走り、さらに便利な収納ボックスも備えて89スクーター市場を席巻したニュージョグが、装いを新たに登場です。

まず定評の走りでは、中・低速域での扱いやすさをさらに向上させるため、シリンダーの吸・排気ポート形状を変更。最高出力6.8ps/7000rpmのスペックは現行モデルと同様ですが、発進加速時の好レスポンスはそのままに、より扱いやすいエンジン特性としました。

使い勝手のよい大容量収納ボックスに代表される利便性では、リアキャリアのストッパー位置を変更して積載有効面積を拡大。さらに軽快な走りを演出するカラーリングとグラフィックも一新し、走り、利便性、ファッション性ともにその魅力を深め、大幅な商品性の向上を図りました。

ブラック2/ヤマハブラック



■NEW JOG 仕様諸元

●全長1600mm ●全幅610mm ●全高960mm ●シート高710mm ●軸間距離1115mm ●最低地上高80mm ●乾燥重量60kg ●舗装平坦路燃費68km/ℓ(30km/h) ●最小回転半径1.6m ●制動停止距離3.5m(20km/h) ●エンジン2サイクル・空冷・クランク室リードバルブ・単気筒、49cc ●内径×行程40.0mm×39.2mm ●圧縮比7.2:1 ●最高出力6.8ps/7000rpm ●最大トルク0.71kg-m/6500rpm ●始動方式セル・キック併用式 ●潤滑方式分離給油(ヤマハオートループ) ●オイル容量0.8ℓ ●燃料タンク容量3.5ℓ ●キャブレター3KJ(Y14P) ●点火方式C.D.I ●点火プラグ型式BPR6HS、BPR7HS、W20FPR-U、W22FPR-U ●バッテリー容量12V4Ah(10) ●1次減速(比)ギヤ(3.692) ●2次減速(比)ギヤ(3.454) ●クラッチ乾式内拡重錘式 ●変速機Vベルト自動無段変速 ●変速比2.530~0.900 ●フレーム鋼管アンダーボーン ●キャスター26°30' ●トール72mm ●タイヤ80/90-10 3J(前後とも) ●制動装置ドラム(リーディングトレーリング)(前後とも) ●ブレーキ胴径(前)95mm(後)110mm ●懸架装置(前)テレスコピック(後)ユニットスイング ●緩衝方式コイルスプリング(前後とも) ●ホイールトラベル(前)42mm(後)40mm ●ヘッドランプ12V25W/25Wバルブ着脱式 ●テールランプ/ストップランプ12V5W/21W ●フラッシュャーランプ12V8W×4 ●メーター速度計、燃料計

ホワイトカクテル1/ソリッドファインシルバー

春一番ウキウキ気分で **新発売**

90's NEW JOGのCMキャラクターは '90年最注目アーティスト・松岡英明氏

元気の良さとセンスの良さが売りの90's ニュージョグのCMキャラクターは、今、ティーンエイジャーの間で人気赤丸急上昇中の歌手・松岡英明氏がつとめます。90's ニュージョグ&松岡氏のキャッチコピー“メジャーじゃん”を合言葉に、カタログ、ポスター、雑誌広告などでみなさんの前にお目見え。どうぞ店頭での話題づくりにご活用ください。



松岡英明プロフィール
'67年横浜生まれ。DURAN DURANに衝撃を受け、高校時代バンド活動を開始。'86秋「VISION OF BOYS」でEPICソニーからデビュー。以後シングル10枚、アルバム4枚を発表。昨年「KISS KISS」のヒットで、'90年最も活躍の期待されるアーティストの一人に。

実現アメリカンドリーム 高級クルージングモデル **V MAX1200**

バイマックス

ヤマハ

2月1日
新発売

アメリカで絶大な人気を誇る“V-MAX”が、高級クルージングモデルとしてのリメイクを受けて、国内販売されます。日本の交通環境に適合させるべく、V-ブーストシステムを外し最高出力を97ps/7000rpmに設定したのははじめ、マフラーなど

の見直しにより騒音を低減。大排気量V4エンジンが生み出すゆとりのトルクとマイルドなエンジン特性により、長距離ツーリングにも快適なクルージングモデルとしての魅力にあふれています。

メーカー希望小売価格：¥890,000
カラーリング：シャイニーブラック
(北海道、沖縄および一部離島を除く)
※ 価格には保険料、税金(含む消費税)、登録にともなう諸費用は含まれません。



■V MAX1200仕様諸元

●全長2300mm ●全幅785mm ●全高1175mm ●シート高765mm ●軸間距離1590mm ●最低地上高155mm ●乾燥重量264kg ●舗装平坦路燃費32km/ℓ(60km/h) ●最小回転半径2.8m ●制動停止距離14m(50km/h) ●エンジン4サイクル・水冷・DOHC、4バルブ、V型4気筒1197cc ●内径×行程76.0mm×66.0mm ●圧縮比10.5:1 ●最高出力97ps/7000rpm ●最大トルク11.3kg-m/6000rpm ●始動方式セル式 ●潤滑方式強制圧送ウェットサンプ ●エンジンオイル容量4.7ℓ ●エレメント不織布 ●燃料タンク容量15ℓ ●キャブレター3UF(BDS35)×4 ●点火方式フルトランジスタ ●点火プラグ型式DPR8EA-9、X24EPR-U9 ●バッテリー容量12V16Ah(10Hr) ●1次減速(比)ギヤ(1.775) ●2次減速(比)シャフト(2.566) ●クラッチ湿式多板 ●変速機常時噛合式前進5段左足動リターン式 ●フレームダブルクレードル ●キャスト29"00 ●トレール119mm ●タイヤサイズ(前)110/90-18 61H(後)150/90-15M/C74H ●制動装置(前)油圧式ダブルディスク(後)油圧式シングルディスク ●ディスク有効径250mm(前後とも) ●懸架装置(前)テレスコピック(後)スイングアーム ●緩衝方式(前)オイルダンパー、エアコイルスプリング(後)オイルダンパー、コイルスプリング ●ホイールトラベル(前)140mm(後)100mm ●ヘッドランプ12V60W/55Wバルブ着脱式(ハロゲン) ●マーカーランプ12V3.4W×1 ●テールランプ12V5W×2 ●ストップランプ12V21W×2 ●フラッシュャーランプ12V21W×4 ●メーター速度計、回転計、水温計



ダイナスティブルー/ソリッドシルキーホワイト



C O N T E N T S



NEW MODEL

ヤマハスポーツ **TZR50**
FZR250R TZR250/SP仕様
VMAX1200 セマハ
スクーター **90's NEW JOG**.....3

特 集 | ゼロハンスポーツ新時代
フルサイズ **50cc** の魅力10

サービスマン日記'9018

●Y.E.S.S.活動ノート
遊 YOUR 誘 SHOP19

●リレーエッセイ
バイク紀行 柏 秀樹22

●時代をつかむ話題と情報
情報スクランブル24

うちのお店の元気印26

ご商売ヒント&ヒント27

ヤマハインフォメーション28

トピックス31

レーシングエクスプレス34

from SAFETY36

HOT SHOP 拝見37

THE LATEST AD40

セールスカレンダー 2月~3月

2月	19日	万国郵便連合加盟記念日
如月	20日	火
5月	21日	水
6日	22日	木 大安
7日	23日	金
8日	24日	土 大安
9日	25日	日 全日本スノーモビル選手権 第6戦青森
10日	26日	月
11日	27日	火 建国記念日
12日	28日	水 大安 振替休日 全日本スノーモビル選手権 第4戦福島
13日		木 3月 弥生
14日	1日	木 全国緑化運動
15日	2日	金
16日	3日	土 ひな祭、みみの日
17日	4日	日 全日本ロードレース選手権 第1戦鈴鹿 2&4 全日本トライアル選手権 第1戦九州 全日本スノーモビル選手権 第7戦和歌山
18日	5日	月 大安 全日本スノーモビル選手権 第5戦茨城

セールス
歳時記



「ツバチ（2月と8月）なんていうジジクスを忘れてしまいそうなくらい、春の新商品が目白押しで市場は活気づいています。が、さらにこの時期のご商売を盛上げるのはお店の積極的な姿勢です。バレンタインデーなどをキッカケとしたセールや、華いた店頭演出などで新商品に負けなくらいの話題づくりをお願いします。

忙しい時期にはできない活動をやっておくのも効果的です。春商戦本番に備えて商圏をジックリと見直してみたり、顧客リストを整理してみたりと、この時期ならではの活動もたくさんありそうです。

『バイクもこころもライトオン』
'89二輪車セーフティスローガン最優秀賞

ゼロハンスポーツ新時代 フルサイズ50_{CC}の魅力

'90 年代のコンセプトワードは「心の豊かさ」とか。そういえば4輪車にしても電化製品にしても、手軽でしかも本物の内容が楽しめたり、持つことそのものがステイタスとなるような商品が受けているようです。生まれながらにして趣味性が強いモーターサイクルは、進化の方向こそ色々ありますが、冷静に考えてみると'90年代向きの商品のひとつと言えそうです。

今回の特集は、その'90年代最初の話題として大きな注目を集めるTZR50にスポットを当ててみました。今後のご商売の参考に、ぜひご一読ください。





二輪ジャーナリスト
近田 茂さん

バイクの楽しさや難しさを このTZR50で感じて欲しい。

これからバイクに乗り始めようとするビギナーライダーに本音でお薦めできるモデルはなかなか少ない。その中でこのニューTZR50は、価値ある貴重な存在だ。スキーで言えば、緩斜面の広いゲレンデで練習を始めるのと同じように、バイクだって、最初は気軽に乗れる親しみ易さとビックリすることのない、程々のパワーのバイクから始めるのが正解。

その意味でTZR50は、これからバイクの楽しさと難しさを知るビギナーや、本気でテクニクを磨きたいライダーには、まさにピッタリの存在だ。

誰にでも気軽に乗れて、日頃の移動手段としても役立つスクーターや、遊び感覚で楽しめるミニサイズのYSRなども親しみ易い。実際その気軽さがウケて各地でサnderレースが高い人気を得ているが、今後、より大きなバイクへとステップアップしていく登竜門としては、やはり本格的サイズ(車格)を備えたバイクが相応しい。

走る、曲がる、止まるの3原則を体験を積みながら学んでいく中で、スムーズな扱いの大切さや無駄なくスピードを乗せるノウハウといった奥の深いスポーツバイクの操作を理解するには、スクーターなどよりも挙動の穏やかなTZR50の方が正しくかつリスク少なくてマスターし易いし、効果的な練習にもなる。

ましてや今年から全国規模で予定されているMP16レースというYESのソフト展開は、遊んでいる内に自然と上手になれるチャンスがあるし、センスに恵まれた人なら本格的レースの世界への道も開けやすい。

■TZR50フィーチャーマップ

①加速性重視の水冷・2サイクルエンジン

低速から高速まで全回転域にわたる加速性能を重視した水冷・2サイクル・ピストンリードバルブ・単気筒49ccエンジン。最大出力は7.2ps/9,000rpm、最大トルクは、0.65kg-m/7,500rpmを発揮します。

②3.5ℓ大容量エアクリナー、新作シリンダー、樹脂製大型リードバルブの採用

このハイパワーは、各ポートを大型化した新作シリンダー、吸気効率を高めると共に吸気騒音の低減を図る3.5ℓ大容量エアクリナー、樹脂製大型リードバルブ、エキパイ・マフラー部一体構造の新設計マフラーの採用など、これらのトータルなマッチングで可能となったものです。

さらにフライホイールのローター径はφ100mmの小径タイプを採用、クランク慣性マスを少なく設定し、エンジンフィーリングの向上を達成しています。

③大型ラジエターの採用

新作シリンダーは、排気ポート下部にも冷却水をまわす構造としたほか、コア幅220×108mmで放熱量5900Kcal/hの大型ラジエターを採用し、パワーを安定して発揮できるものとしています。

④50ccモデル初、マイコン制御のデジタル進角点火方式の採用

50ccモデルでは初のマイクロコンピューター制御のデジタル進角点火方式の採用です。低回転域から高回転域まで、各エンジン回転数に対して最適な点火タイミングが得られます。

⑤操作性と安定性との絶妙なバランスを得た新設計フレーム

角型高張力鋼管を使用した高剛性のダブルクレードルフレームを採用しています。フルサイズ設計により走行時の剛性感を高めるとともに、クイックなハンドリングと安定性との良好なバランスを得ている点が特徴です。

⑥大径インナーチューブ採用のフロントフォーク

フロントフォークは、φ30mmインナーチューブを採用、高剛性を確保するとともにアルミ製アウターチューブの採用でパネ下重量低減を図り、優れたサスペンション性能を得ています。リヤには定評のモノクロスサスペンションを採用しました。

⑦ワンクラス上の操縦安定性を達成

車体関係の設計にあたっては、ワンクラス上の、つまり125ccモデルに迫る操縦安定性の追求をテーマとしました。

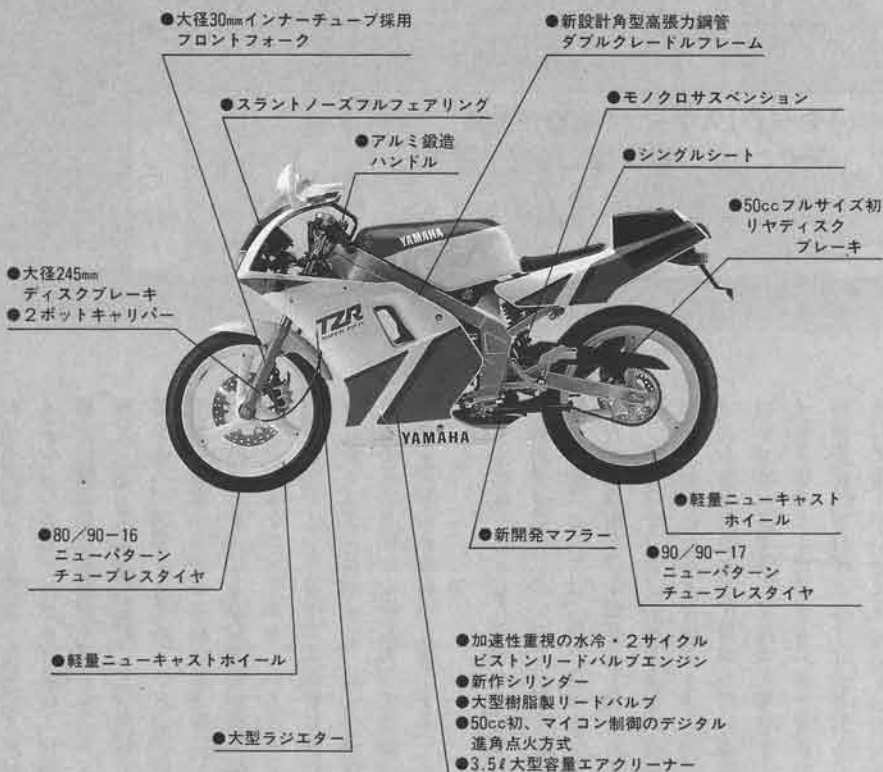
従来の50ccフルサイズスポーツモデル「RZ50」と比較して、エンジンマウント位置を前方へ移しフロント荷重分布は48.5%に設定、

キャストを2°立てる方向で変更しています。

さらに、フロント16インチ、リヤ17インチホイールを採用し、高剛性フレームと相まって高い安定性とクイックなステアリングレスポンスを両立させています。

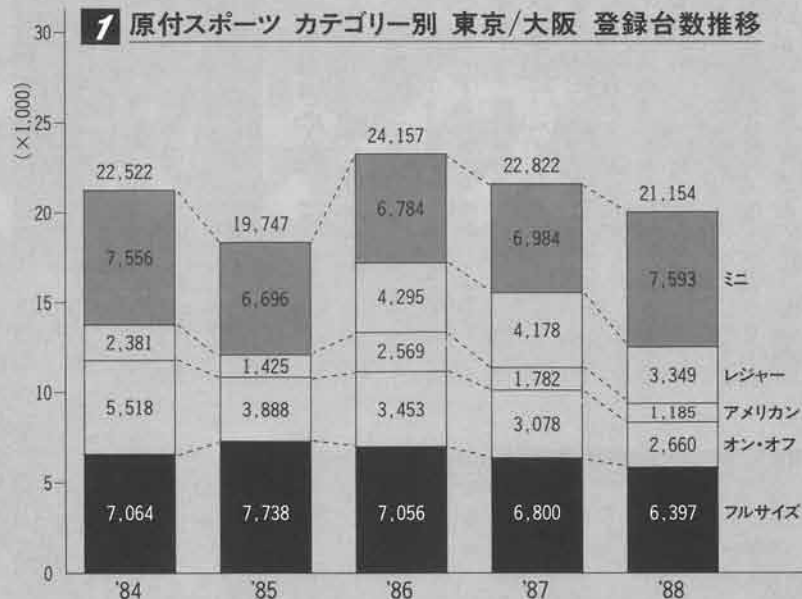
⑧フロント大径ディスクブレーキ、2ポットキャリパーの採用

フロントには、φ245mm大径ディスクブレーキと2ポットキャリパーを装備。すぐれたストップングパワーと合わせ、ブレーキングフィーリングを向上。リヤブレーキには、50ccフルサイズモデル初のディスクブレーキを採用しています。





1 原付スポーツ カテゴリ別 東京/大阪 登録台数推移



なぜ、今、フルサイズ 50ccスポーツか？

50ccスポーツ派

250cc・400ccモデルに対する
「あこがれ」「レーサーレプリカがかっこいい」がベース心理

◎やっぱりスポーツバイクがNo.1
テクニックの修得はこれが一番

○いつかはBig Bikeを乗りこなしたい
×モデルメンテナンスが少ない(Newモデルが少ない)

50ccスポーツマーケットの現状

まず表1をご覧ください。マリックやフォーゲル、ポッケなどのレジャーバイクが健在だった'84年から、ミニレプリカが完全に市場定着したと思われる'88年までの50ccスポーツ（スクーター、ビジネスを除く）の東京・大阪登録台数の推移です。

この表からみなさんにご理解いただきたいことは3つ。まず、人気の中心はストリートカテゴリーにあること、フルサイズスポーツが安定した需要で推移し、ミニレプリカとフルサイズスポーツの2極分化構造ができあがっていること。また、ヘルメット規制のあった'85年に一度落ち込んだ需要が翌年のYSR50の投入で再び活況を呈するといった具合に、投入されるモデルにより需要の影響を受けやすいマーケットであるということです。最新のレーシーフォルムを身につけたフルサイズ50ccスポーツ、この2点だけ見てもYZR50がいかに期待できるモデルかご理解いただけると思います。

さて次は、こうした需要を支えるお客さまのマインドについての分析です。表2の内容については、販売店のみならずの方がご理解が深い部分とも思われますが、要はスクーターに乗るヤングが操作感を楽しむというよりはコミュニケーションツールのひとつとして乗車しているのに対し、50ccスポーツに乗るお客さまのマインドは250ccや400ccクラスの本格派スポーツバイクユーザーと同じところにある、ということ。

つまり、スクーターのお客さまが年齢

ゼロハンスポーツ新時代
フルサイズ50^{CC}の魅力

3 TZR50・TZ50開発コンセプト

誇れるゼロハン! フルサイズのスーパーフィフティ

速い! スーパー
パワー

- 小気味良い加速感
- スクーターに負けないピックアップ
- 安定したコーナリング性能
- 走りを支えるストッピングパワー

TZR50

カッコイイ! スーパー
フォルム

- 50ccフルサイズ初のフルカウル
- YZRゆずりのレーシースタイル
- ワンクラス上の仕上げと装備

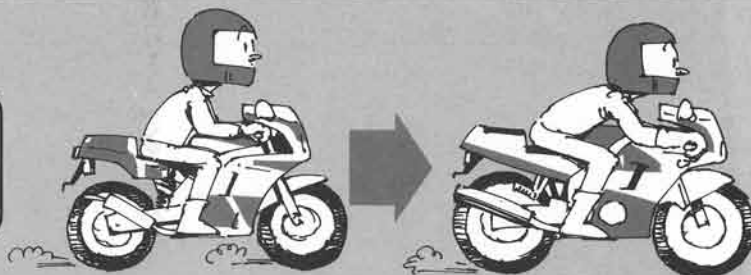
レーシングコンペティション

- ☆50cc初のコンペティションマシン設定モータースポーツ底辺需要の育成活動
- 本格レースの醍醐味をより手軽に提案する
- 改造行為の排除
- YSRからのステップアップ

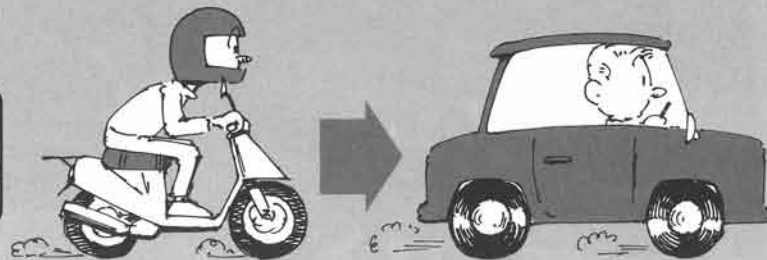
TZ50



大多数が
ビッグバイクへ
ステップアップ



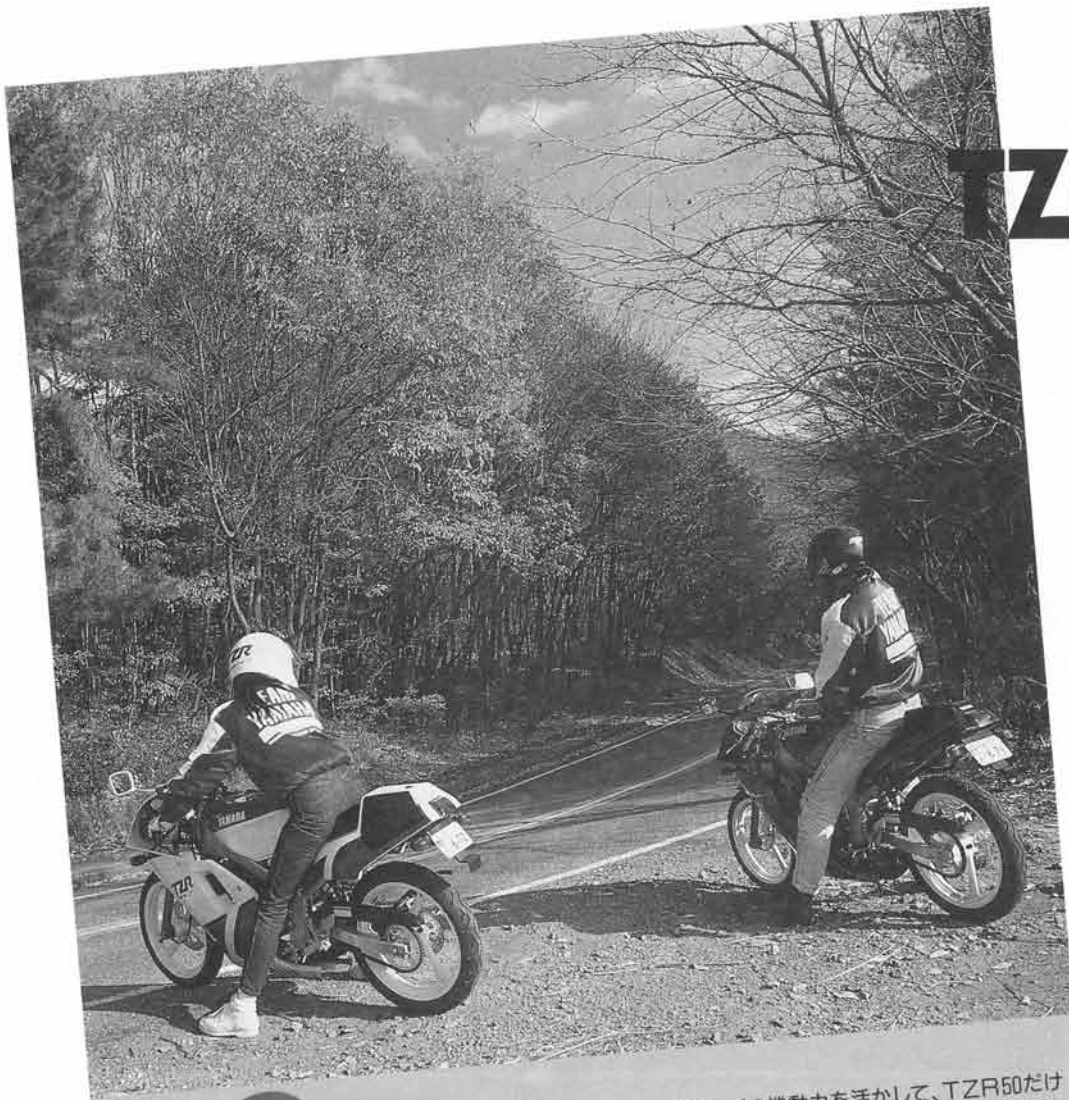
年齢とともに
4輪車へと移行



ともに4輪へと移行していくのに対し、50ccスポーツに乗るお客さまは周辺条件(取得免許や経済条件)が揃えばそのままビッグバイクユーザーへとステップアップする比率が高いということです。

さらにその中のミニレブリカとフルサイズスポーツに乗るお客さまを比較すると、ミニレブリカがスタイル重視のタウンユースが中心なのに対して、フルサイズは通勤、通学からツーリングまで、その使用実態はビッグバイクに乗るお客さまとよく似ています。

以上のような市場背景をふまえて誕生したTZR50。その開発は、より強烈なインパクトをもってさらに大きな需要開拓を可能とするために、誇れるゼロハン/フルサイズのスーパーフィフティをコンセプトにすめられました。最新のユーザートレンドにマッチしたスタイリングと、ヤングのスポーツマインドを満足させるに十分な走り。さらにモータースポーツの底辺需要の育成と拡大を図りながら、フルスロットル走行への願望と改造行為への欲求をも吸収するコンペティションモデルTZR50の同時開発とMP16レースの開催。タウンユースから通学、通勤、ツーリング、さらにレースまでをもフォローするこの魅力あふれるニューモデルで、モーターサイクル底辺需要の大幅な掘り起こしをお願いいたします。



TZR50 フルサイズボディだから楽しめる こんな遊び、あんな遊び

1 ツーリング TOURING

フルサイズの機動力を活かして、TZR50だけのツーリングを企画されてはいかがでしょう。自然のなかで走ることの楽しさや操ることの楽しさを感じていただけることでしょう。

TZR50では、通勤や通学といった実用的な使い勝手はもちろん、そのフルサイズボディを生かしたさまざまな遊びの世界を提案しています。TZR50を使った遊びの中で、走ることの、操ることの楽しさを感じていただき、お客さまに息の長いスポーツバイクファンに育てていただきましょう。

街から飛び出して 『ワンデー・ツーリング』へ

ゆとりのジャストサイズが生み出すポジションは、ツーリングバイクとしても十分期待に応えます。目的地まで1000キロ程度のツーリングなら、日帰りコースも可能でしょう。たとえば首都圏から南房総や信州へ、大阪圏から南紀や琵琶湖方面へと、従来の50ccツーリングの枠を越えたコース設定が実現できます。

また、原付免許のお客さまの行動範囲が広がることによって、お店のツーリングイベントやバイクピレツジをはじめとするYESSイベントへの参加も期待でき、普及活動がますます活気づきそうな気配です。

安全教育の願いを込めて 『パズルライド』を実施します

さらに、街の中で手軽に楽しめるソフトイベントとして、ラリーの楽しさを凝縮したパズルライドを全国的に展開すま。

特集

ゼロハンスポーツ新時代 フルサイズ50^{CC}の魅力



2 バズルライド PUZZLE RIDE

遊びながら交通ルールが学べるソフトイベントです。3~4月にわたって全国的に開催しますが、お店オリジナルのイベントとしても企画ください。ただし、公道を使ったイベントのため、開催の際には安全面の十分な配慮をお願いします。

●バズルライドの採点ルール

- Ⓐ 実走行距離 - モデル走行距離 = ロス距離
- Ⓑ コース上で提示された問題の解答数

Ⓐをマイナスポイント、Ⓑをプラスポイントとして、Ⓐ+Ⓑの合計点で順位を競います。

Y.E.S.S. No1カップシリーズに、MP-16レース・TZR50クラスを新設します。スポーツライティング派のお客さまに、ぜひご案内ください。

グランドチャンピオン大会

(静岡県・つま恋11/10~11・予定) *TDR50クラスを除く

TZ50 クラス	TZR50 クラス	YSR50 クラス
-------------	--------------	--------------

ブロック大会 (全国8会場)

TZ50 クラス	TZR50 クラス	YSR50 クラス	TDR50 クラス
-------------	--------------	--------------	--------------

地区シリーズ大会 (全国38会場)

TZ50 クラス	TZR50 クラス	YSR50 クラス	TDR50 クラス
-------------	--------------	--------------	--------------



3 レース RACE

YESSEN O1カップシリーズに新クラス 『MP-16レース』でスポーツ派に対応

3年目を迎えたミニバイクレースのシリーズ戦「YESSEN NO1カップシリーズ」に、新クラスTZR50クラスが誕生します。NO1カップはご存知のとおり、全国規模で展開されるYESSENの年間イベント。今年は全国38会場で177戦の開催が予定されています。

モータースポーツブームが続くなか、MP-12レースで大きく広げられたミニバイクレースの世界は熟成期を迎え、いままさに本格ロードレースへステップアップしようというお客さまも見られるようになっていきます。そのような現状のなかでフルサイズボディのレースを経験することは、間違いなくステップアップへの第一歩となることでしょう。

※シリーズ戦は各地で2月よりスタートします。グランドチャンピオン大会(静岡県・つま恋 11月10日~11日予定)の開催に向けて、大きな盛り上げをお願いします。

(3~4月)
1チーム2名でペアを組み、当日配布されるコマ地図の指示に従ってゴールを目指すこのゲームでは、チェックポイントに道路標識や道路交通法に関する問題を提示するなど、遊びながらにしてルールやマナーを学んでいただける内容となっています。TZR50で楽しいバイクライフを送っていたくため、また軽二轮や自動二輪へステップアップしていく過程でグッドライダーとしてのマナーを身につけていただくために、広くお客さまへご案内ください。

TZR50こう売りたい。 こう育てたい。

フルサイズ50ccスポーツバイクとして、新たなバイクライフを提言するTZR50はお客さまはもちろん、業界内外でも大きな注目を浴びています。販売店のみなさんはどのようなご商売を考えていらっしゃるでしょうか。



スポーツバイクの基本を教える
教材として、工夫を凝らした商売を!
YOU SHOP ACSホンダ/本田隆社長(大阪市)

お客さまにとって、常に良き相談役でありたい、と考える本田社長はTZR50を「スポーツバイクの基本モデル」として位置づけ、バイクに関するすべての知識、交通社会のルールなどを初めて学ぶための教材にしたいと言います。

「TZR50は、そのスタイルなどからレースイメージを強く感じますよね。カッコよさ、目立つ、速い、というような。だけど、こういうイメージを安易にセールストークには使いたくないですね。フルサイズ50ccスポーツ車として、スクーターともYSR50とも違う、本格的なバイクのメカニズムや操作、走る楽しさ、遠くへ出かける喜びがわかるバイクだから、そのメリットを十分伝えて売ってきたい。」

だから、ターゲットとするユーザー層は、TZR50で初めてクラッチ付きバイクに乗るといふ、スクーターからのステップアップ者やまったくのバイク初心者。納車前には必ずレーシングスタンドを使ってクラッチ操作の練習や、きちんとした乗り方指導を徹底するつもりです。

売ったあとも、点検時にはメカニカルな面でメンテナンスを教えたり、TZR50だけのツーリングもやろうと思っています。初めて交通社会に入る人も多いはずですから、ツーリングでマナーやルールを教えるのも、安全指導をすすめるうえで重要ですね。

いずれにしろ、TZR50は売れる側にとっても夢の多いバイク。ビッグバイクに負けない50ccバイクワールドを創ってきたいと思います。」

ゼロハンスポーツ新時代
フルサイズ50^{CC}の魅力

以前から比較的三不運動が厳しくない地域にあって、安全指導を下地とした高校生のお客さまの育成にも熱心なYSP足立中央さん。TZR50は本格派スポーツバイクの基本をすべて備えた入門バイクとして売りたい、と意欲的です。「TZR50を売る場合、まずアピールしたいのはカッコよさ。ウチではミニバイクからSDRレースまでいろいろレース活動もやっていますから、それを生かしてオリジナルカラーのTZ50を展示し、その公道用モデルとしてTZR50を紹介するつもりです。



TZ50はオリジナルカラーペイントのサービスを実施。TZR50でもやるかどうか思案中

スクーターにない本格スポーツ車の
楽しさ、カッコよさをアピール!

YSP足立中央 / 山崎敏雄社長(東京都足立区)

ただ、対象者はTZ50と違って初心者がほとんどなので、即レースではなくツリーングをまずやるつもり。例えば往復150kmぐらいのところで海へ出かけるとかね。きつと行動半径の広がりを感じさせるだろうし、交通社会の仲間入りをした自分がよくわかるはず。どう走れば全

全で、スムーズに走れるか。そして走ることの楽しさ。そういったことが初めてでもムリなくわかるのがTZR50です。またスクーターが最初だと、オシャレで簡単な移動ツールに満足してしまいがち、ステップアップになかなかつながらず、TZR50を乗りこなせば十分250ccや400ccだって運転できるんですから、代替えを意識したセールスト



ークも可能ですね。

その分、乗り初めのところできちんと乗り方を教えないとね。ただ、正面きつて乗り方教室ってやると逆効果。カッコよくないでしょう。閉店後こっそり2〜3人集めて練習させて、納車の時にはさっそうと乗って帰れるようにしたいですね

TZR50の商品性をよく理解したうえでのセールストークは説得力バツグン

お客さんのために心を込めたメンテナンスをめざします！

なりたてのホヤホヤ、新人サービスマン・マサノブ君は、やっぱ接客が一番難しいですね、と感想を語っていました。しかし、お客さまの笑顔を大切にしたいと、今日も一所懸命メンテナンスに、接客にとガンバっています。季節はまだ冬。そんなに忙しくないだろうと思っていたマサノブ君ですが…。



○月×日——この頃、急に寒い日が多くなってきた。さすがに、バイクを買いに来るお客さんも少なくなった。

ところが、逆に修理やメンテナンスの方は台数が増えてきた。もちろん、修理内容はさまざまだけど、去年たくさん走って疲れたバイクを、いよいよ次のシーズンに備えて整備しておこうというわけだろう。エンジンのオーバーホールからタイヤ交換、オイル交換まで、シーズン中と変わらなくらい忙しい日もある。

ちょっとしたメンテナンスで多いのはオイル交換。チェーン調整やバッテリー液の量などは、ついでの時にチェックしてあげているからそれほどでもないが、自分ではオイルさえあまり点検しない人もいるようだ。まあ、冬はバイクのリフレッシュシーズンというところか。

しかし単なる修理車ならいいが、事故車の修理もけっこう入る。ボクも以前ケガをしたことがあるので、乗っていたお客さんの体が心配になる。バイクは修理すれば直るが、人間の体は…。寒いと体が硬くなつて、とっさの時にうまく体が反応しなかった、ということをよく聞く。きつとそんな感じのかな。

事故は本当に悲しいことだ。なんとか減らす努力を、お客さんやボクら自身でしていかなくては！

○月×日——今日、ニューFZR400RRが売れた。ボクも去年のモーターショーで見て、すこく気に入ってし

まったので、お客さんの待ち遠しい気持ちがよくわかる。納車の日が楽しみだ。

○月×日——いよいよ今日はFZR400RRの納車日。さっそく先輩と2人で納車整備に取りかかる。さすがに憧れのニューモデル、気合いの入りが違う。カウルをはずして各部ネジの増し締め、エア圧のチェックなどなど…。トラブルのないよう、心を込めて。

そして納車。お客さんはうれしさのあまり気もそぞろの様子。ボクが取扱説明書をしていてもほとんどわの空。喜んでもらえるのはいいけれど、これは聞いてもらわなくちゃ。もう一度説明をくり返し、「何かわからないことはありませんか？」と念を押す。それからようやく引き渡し。お客さんは喜色満面で行った。楽しいバイクライフを過ごしてもらいたいものだ。

○月×日——大失敗をやってしまった！じつは今朝、社長の自転車のパンク修理をやったのだが、その後修理した自転車に社長が乗ろうとしたとたん、タイヤがバースト。面目まるつぶれもいいところだ。そもそもは、たかが自転車なんて思ったのがマチガイ。これがお客さんのバイクだったりしたら、それこそ大変なことになっただろう。

原因はチューブをタイヤの中へ戻す時、チューブがねじれたままになっているのに気づかなかったこと。これからはどんなささいな事でも気を抜かないよう気をつけなくては。

Y.E.S.S.

YAMAHA EARTHLY SPORTS SHOP

Y.E.S.S. 活動ノート

遊・YOUR・誘SHOP

元気です!! オフシーズンのY.E.S.S. 活動 春まで待てないオ・モ・シ・ロ・さ

システムを充実して1月1日よりスタートした「'90チャレンジ9000キロ」、MP-16レースを加えてますます楽しくなった「YESS No.1カップシリーズ」、そして3月からは全国で一斉に開催される「バイクビレッジ」と、楽しい企画が目白押し'90Y.E.S.S.。春を待ちきれないのはYESSスタッフだけではありません。YESSショップのみなさんも、ウインターシーズンから活発な活動を始めているようです。今回はそうしたみなさんのさまざまな活動を、全国各地からご紹介します。



会場の渋谷エビキュラスは終始大賑わい

女性ファンから藤原選手へXmasプレゼントを贈る場面も



街中がクリスマスのイルミネーションに飾られたイヴの夜、東京でもひととき賑やかな渋谷の街に元気なYESSスタッフ700名が集まりました。

この夜はYESS東京恒例のクリスマスパーティー。藤原儀彦、本間利彦、塩森俊伸、永井康友、原田哲也の各ワークスライダーも駆けつけ、大変な盛り上がりとなりました。

ワークスライダーによるチャリティ

「オークションでは、各選手の愛用品が飛びように売れ、合計の売上げはなんと3万9000円。このお金は2月15日よりスタートするYESSナイスライド募金に寄付されることになっています。

また、救命ボートゲームや棒つかみゲームといったアトラクションも大盛況。販売店のみなさんとYESSスタッフ、そしてヤマハワークスライダーが大いに親交を深めた夜となりました。

《東京》

ヤマハワークスライダーとファンの交歓

『YESS TOKYO クリスマスパーティー』



当日も運営に大ハリキリの
沢田社長



Y.E.S.S.
YAMANA EARTHLY SPORTS SHOP

Y.E.S.S. 活動ノート

遊・YOUR・携SHOP

《東京》

寒さなんかブツ飛ばせ！31チームが大熱戦

『第1回アイドル杯クリスマスマス4時間耐久レース』

12月23日(土)、筑波サーキット東コースは晴天。連日厳しい寒さが続く中で、この日は穏やかな天候となりました。千葉県柏市の「YOU SHOPアイドル」さんにとって、単店開催のミニバイクレースはこの日が2度目。前回はスプリントレース(89年9月)でしたが、2度目は4時間耐久レースに挑戦です。「自分でレースをやるとよく分かるんですが、スプリントレースだと体格差とかテクニクとかで、毎回勝つ人が決まっ

てしまうんです。ところが今回みたいな耐久レースなら、ベアの組み方でハンデが消えますからね。どちらにしろ単店で行なうレースですから、全員が楽しめる方がいいと思います」というのは沢田正美社長。さらに「耐久だと3〜4人のチーム員が必要だから、動員もラクで実際賑やかになる」のだそうです。この言葉どおり当日は31チーム約90名のお客さまが集まりました。

レース運営については、Y.E.S.S.イベントに参加しながら沢田社長自らがノウハウを勉強し、豊富な実績を持つ他店のアドバイスを受けたりしたそうです。その甲斐あってこの日のレースは大成功。参加者からも高い評価を受ける結果となりました。「ここまで盛り上がったんですから、今年にはY.E.S.S. NO.1カップと並行して、

参加者の声



堀江慎一さん(22歳・アルバイト)

「とにかく気持ちのいいレースでしたね。表彰台にも立てたし、文句なしの一日でした。今度はMP16レースに出てみたいな。社長もヤル気になってるみたいだし」



「2ヵ月間の準備期間を設けた」沢田社長の努力の甲斐あって、参加者を含め90名のY.E.S.S.スタッフが集合

YSR50耐久にも力を入れていきます。5月5日に4耐+2耐、9月15日に8耐はもう決めているんですが、お客さんからの要望があれば常に考えていこうと思っています」

程田美江子さん(17歳・高校生)

「初めてのレースで転倒もしちゃったけど、とにかく楽しい!! もう夢中になっちゃいますね。Y.E.S.S.には入会したばかりだけど、これからツナギとか揃えてNo.1カップにも挑戦します」

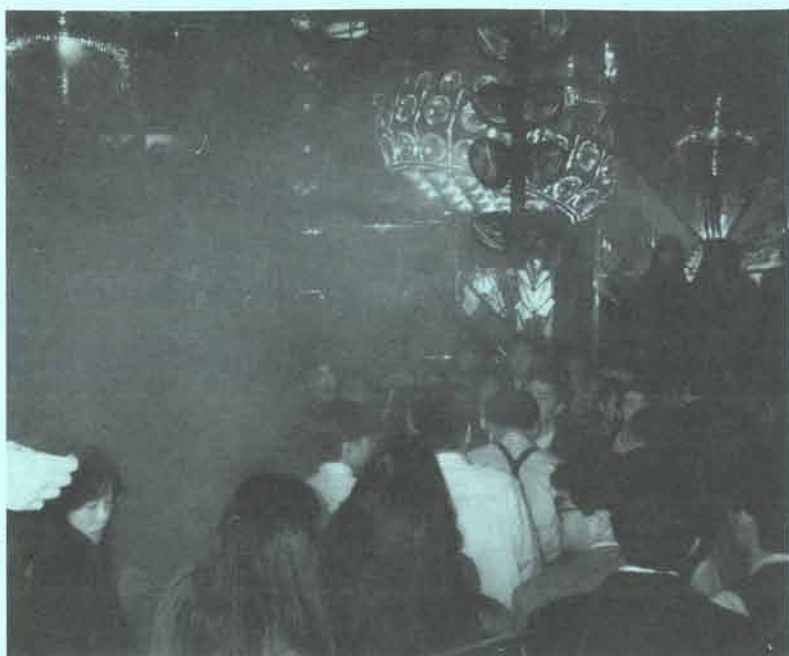


『Y.E.S.S.ディスコパーティー』

遊び上手な女性のお客さまが「たまにはディスコで騒ごうよ」といったのがきっかけで、なんと2600名が集まる大イベントにまでふくらんだ神戸の「Y.E.S.S.ディスコパーティー」。イヴの夜は、東京のパーティー会場にも負けない熱気で大いに盛り上がりました。

会場は、神戸のディスコのメッカ、マハラジャ。ダンスタイムの合間に設けられたシャウト&シャウト(女性のミニスカート度を競う)、パフォーマンス大集合

(おかしな踊りやパフォーマンスを披露)などのアトラクションも大盛況で、ニュージヨグが当たるジャンケン大会まで89年最後のY.E.S.S.イベントを大いに楽しみました。普段店頭では見られないお客さまの本性(?)も表われて、お店とお客さまの親睦に、またお客さま同士の親睦に、大いに役立ったパーティーとなったようです。



若いお客さまの熱気に、店主さんたちは少々気遣れがちだったとか……

ミニスカート度を競う、シャウト&シャウト。この日も盛り上がったゲームです。

《和歌山》ハイスコア続出!!

Y.E.S.S. カップ
ボーリング大会』



「単店でも無理なく企画できるイベントだね」と店主さんにも大好評

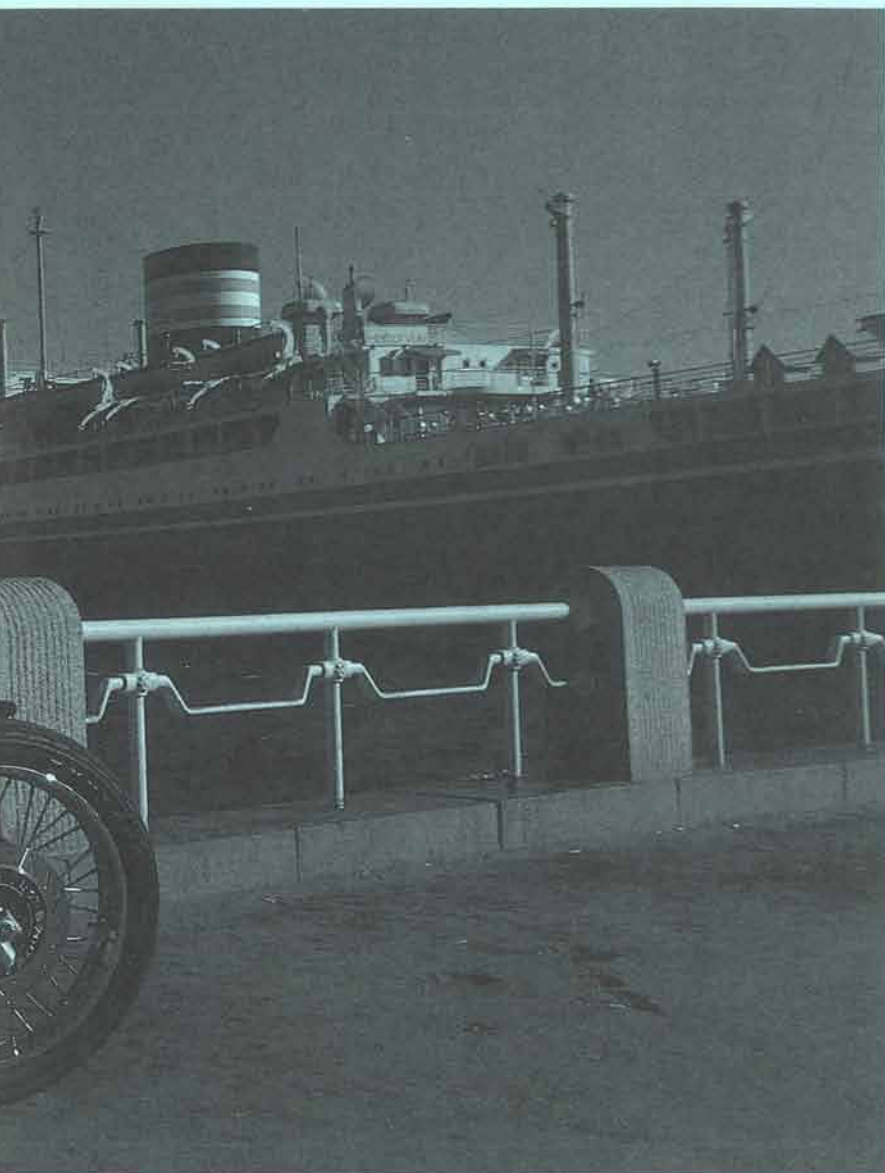
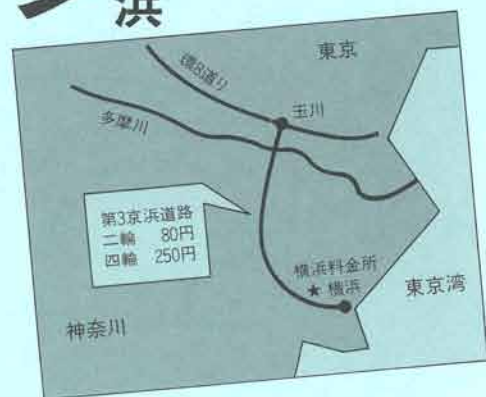


豪華な賞品の数々は、Y.E.S.S.ショップのみなさんからの好意で集められました

スノモ&スキーツアーなどのY.E.S.S.のウィンタースポーツは、南紀和歌山でも大人気。それと肩を並べて動員力を持っているのが、Y.E.S.S.ショップ対抗による冬場のボーリング大会です。昨年12月2日に行なわれた「Y.E.S.S.忘年ボーリング大会」でも、各ショップのお客さまと店主さん24チーム、72名が参加。事前に練習を重ねたチームも多数あって、ハイスコアが続出する熱戦が展開されました。また女性の参加者にはハンディキャップ15Pを与えるなど、ゲーム性を強くする工夫もなされ、大盛況のうちイベントを終了しています。参加されたY.E.S.S.ショップのみならず

んからは、「冬場にお客さんとの接点もつには最高のイベント。お客さんも喜んでくれているので、次回は単店でもトライしてみたいね」という声が聞かれました。

ツーリング紀行

東京↓横浜 僕の定番街道・第3京浜
永遠のライブゾーン

ライブゾーンをくぐりぬけて辿り着くのは、いつも横浜・山下公園。家族連れや若いカップルであふれる日曜もいいが、僕は平日の午前中の方が好きだ

いわゆるライブ感っていうやつかな。ここに来るといつもそんな気分が味わえる。

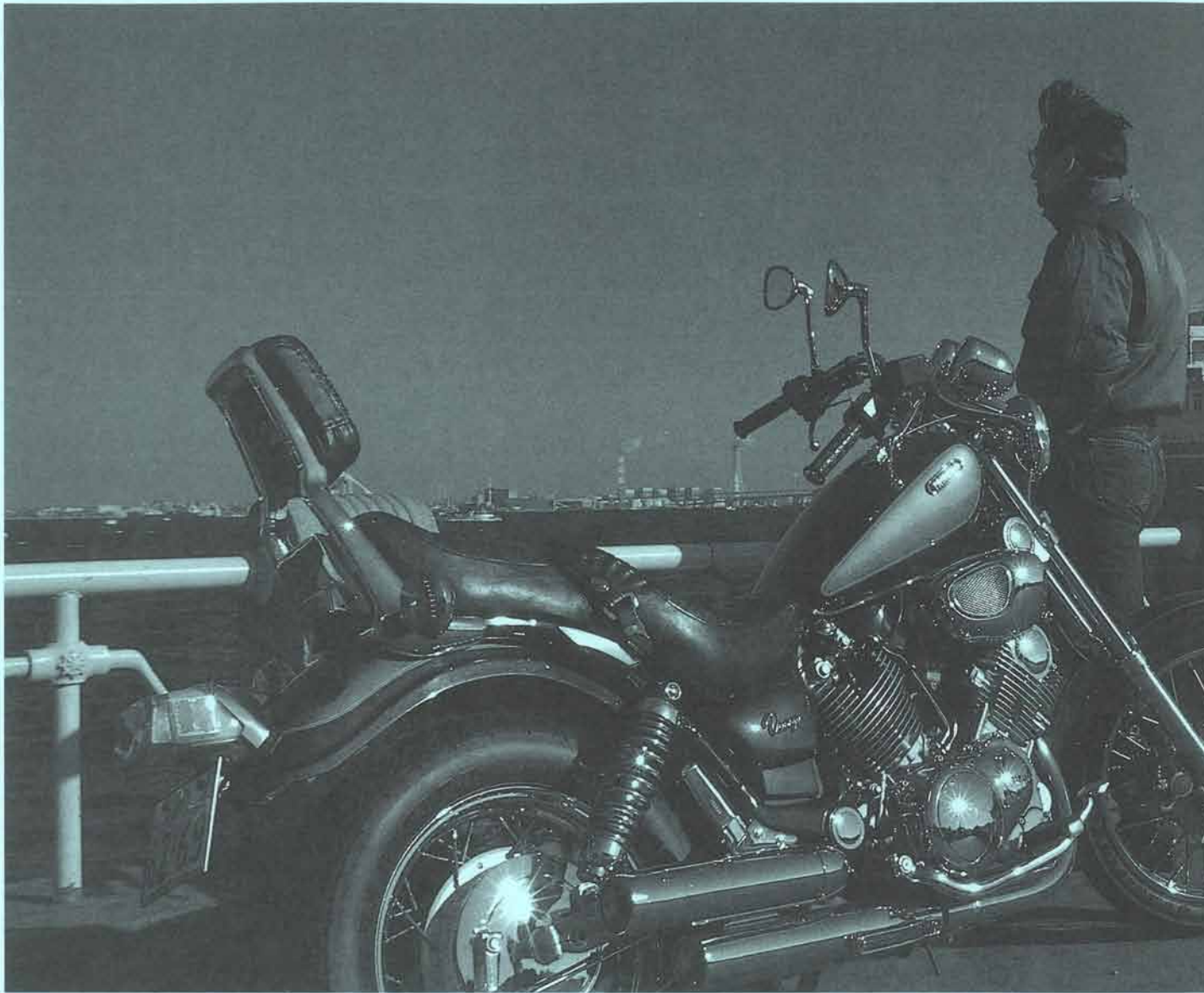
ロングツーリングやワインディングロードでも、絶対に味わうことができないもの。人とバイクが共存している実感がここにはある。それがたまらなく好きで、たまにフラリとやっていくのだ。

そう、ここは第3京浜横浜料金所にあるレストエリア。東名高速などのSAとは違って、いかにも雄然とクルマやバイクが駐車している。バイク談義に花を咲かせて、いつまでもここにいる三人組。たった一人で静かにコーヒーを飲み、いつの間にか走り去るヤツ。いろんなスタイルのバイクとライダーがいる。ハイティーンもいればオジサンもいる。最新型もあれば、旧車もある。凍えそうに寒い夜中でも、サンサンと太陽が照りつける真夏日でも、そんな男たちとバイクでここはいつもにぎやかだ。

人の数だけ人生があるように、ここにはバイクの数だけストーリーがある。そしてそんな姿を見ている自分自身も、見られている一人としてここに参加しているのだ。まさにこれがライブ感。

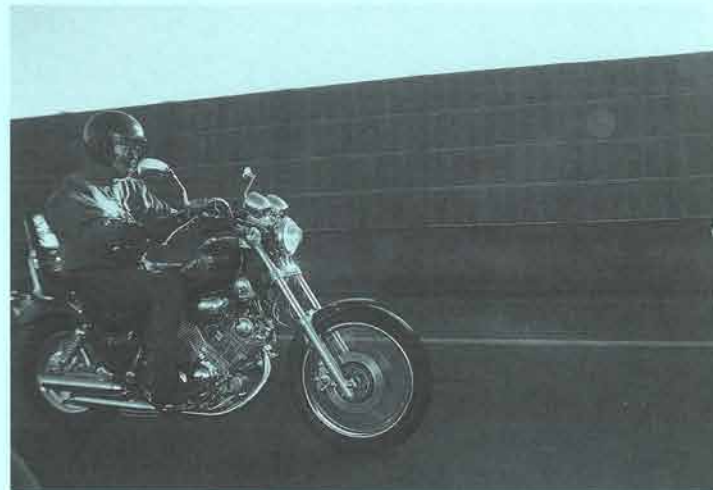
よく、旅は人生の縮図だというが、まさにここはその縮図が見られる不思議なゾーンだ。再びここにいつ来るかは分からないが、必ずまたフラリとやって来るだろう。ここはいつまでも飽きることのない、ライダーとバイクのためのライブゾーンなのだ。

柏 秀樹



柏 秀樹(かしわ・ひでき)

1954年山口県岩国市生まれ。オン・オフを問わず走ることを信条とするバイクジャーナリスト。最近では海外ラリーにも精力的に参加中。著書に『バイクツーリング』（池田書店）『カタログコレクション・シリーズ』（片岡義男共編・双葉社）『ヤマハモーターサイクルのすべて』（池田書店）など。



僕のツーリング定番街道・第3京浜。風に追われ、締切りに追われながら走るのだが、多摩川を渡ると、もう仕事のことは忘れていた

情報

ブル
スク

時代をつかむ
さまざまな話題、情報を満載
ご商売にお役立てください

BOOK

●TZ&TZRRのレース虎の巻
『2ストロークレーシング
ハンドブック'89』

長い伝統と実績に培われてきた
ヤマハの市販ロードレーサーTZ
250。

そして、そのテクノロジをフル
フイードバックして生まれたTZ
ZR250。'89年からは、新たに
後方排気システムを採用し、TZ
250はもちろん、TZRR250
も数々のレースに登場して大活躍
を演じました。

この2車をモデルに、元ヤマハ
ワークスマカニック吉村誠也氏が、
2ストロークレーシングマシンの
メンテナンスを完璧といえるほど
にレクチャーしたのがこの本です。
項目はエンジン、ミッション、
足回りなど10系統に及び、さらに



は資料編としてレギュレーション
から主要サーキットインフォメー
ションなども収められています。
これさえあれば鬼に金棒の、レー
シングマニユアルです。
吉村誠也・著 野口種晴・監修
㈱リンドバーク・刊 2800円

MUSIC

●男性グループが巻き返し
『オリコン・CDトップ10』

マドンナ旋風のおりを受けて、
女性アーティストの上位進出が目
立った昨年。その傾向は今もまだ
残っているようで、今回は6人が
トップ10入り。しかし、男性でも
久しぶりにハウンドドッグとBO
ØWYが1・2位を占め、劣えぬ人
気をアビールしています。
また、全タイトルが英語、とい
うのはちょっとヘンな感じが。

順位	タイトル	アーティスト
①	ボイス VOICE	ハウンド・ドッグ
②	GIGS	BOØWY
③	ラブ・ウォーズ LOVE WARS	松任谷由美
④	ラバーズ LOVERS	プリンセス・プリンセス
⑤	ツイン・メモリーズ Twin Memories	wink
⑥	ハーベスト HARVEST	工藤静香
⑦	シンセラ sincerely	浜田麻里
⑧	ドリーマーズ DREAMERS ONLY	PERSONZ
⑨	エリー・マイ・ラブ	レイ・チャールズ
⑩	アイボリー Ivory	今井美樹

COMMODITY

●CDのいい音をキープする
『CDレンズクリーナー』

高音質で音が劣化しないCDは、
お店のBGM用などにも大変便利

なものです。それだけに、CDは
もちろん、プレーヤーもしっかり
メンテナンスしておきたいですね。
このCDレンズクリーナーは、
CDと同形のディスクブラシに洗
浄液をつけてプレーヤーにセット
し、再生ボタンを押すだけ。CD
信号を読み取るオプティカルレン
ズがきれいにクリーニングできま
す。2500円。



●ツーリング気分で迷路に挑戦
『立体迷路』

まるで立体地図みたいな凸凹が
ついた迷路。スタートからゴール
まで、山越え谷越え海越えて、は
るかなる冒険迷路を楽しめます。
初、中、上級用の3種類。
2500円〜2900円。

お問合せ/ジャパンキャラバック
☎03-814-8421



YAMAHA NOVELTY 1990

ヤマハから心を込めてみなさまへ

2月といえば、14日のバレンタインデー。女の子が男
の子に、密かな胸のうちを……という意味に限らず、チ
ョコやプレゼントの話題でもちきりになります。お客さ
ま同士のプレゼントグッズにこんなものをお勧めしてみ
てはいかがでしょうか。



■万年筆セット
(No.371098/10,000円)
伝統ある一流品ペリカんに、YAMAHAのロゴ
を彫り込んだ万年筆とインクのセット。オールドエ
ンブレの特製ケースも格調の高さを表わします。

■マイティポケット
(No.371048〜9/3,000円)
カードサイズのソーラー電卓の中に、カッターや
メジャー、ボールペン、ホッチキス、クリップまで、
よくもこんなにと驚くほどのツールがセットされて
います。不意の時に備えて常に持ち歩きたい1枚。

■レザーケース ニッ折

(No.371016/5,000円)
上質の内ポケットやヒップポケ
ットにスッキリ収まるサイズ。シ
ンプルで使いやすさもバツグンで
す。(内容物を含みません)



■レザー名刺入れ
(No.371018/3,800円)
スマートでシンプルなデザインが魅力の名刺入れ。
使い込むほどに味わい深くなります。



オジギヤルの次はギャル男くん!?

最近、週刊誌やテレビを賑わせているオジギヤルという言葉をご存知でしょうか? アフター5にお酒やギャンブル、休日はゴルフや釣り、まるでおじさんのような遊び方を好む0しを指した新語です。このオジギヤルが何故か昨年あたりからオシャレとされて、いまでも続々と増殖しているのだそうです。

そこに、また新たな人種が登場しました。オジギヤルとは対極に当たる、ギャル化するヤングビジネスマンです。以下は、ギャル男くん、と名付けられた彼らについて、日経産業新聞が採り上げたものです。

まず、ギャル男くんは肉食ではない。ランチを食べに行くとは彼はサラダを注文する。「ボク、野菜が大好き。生野菜ばかりだと量がとれないから、温野菜も食べない」とね——彼は、健康管理もしっかりできています。

彼は「甘いもの好き」を恥じていない。「彼女はブラックコーヒー、ボクはフルーツパフェ」「彼女はジュートニック、彼はカルアミルク」。ウエーターのお兄さん、置く場所を間違えないでね。

雑貨が大好き。昔、雑貨好きは女子高生の専売特許と決まっていたけど、今やロフトやハンズといったお店はギャル男くんたちでいっぱい。

ギャル男くんはママでセントスが、いいから、彼からのプレゼントは

期待できる。オリジナルラッピングでカード付きは間違いなし。「このスカーフとでもきれいだっただから、君とボクと色違いで買ってき

たよ」なんてこともしばしば。こまめにショッピングに行っている成果だし、服も小物もユニセックスなものが増えて、女の子と「おそろい」することに抵抗感がない。昔は女の子がベアルックを迫って男の子に嫌がられていたのに……。

エステティックサロンに通っているのはまだ少数派だけど、朝シャン、スクラブ洗顔はもう日課。でも、決して彼らを軟弱な男と思っ

てはいけません。「明日の朝、車で向えに来てよ」と彼女がワガママ言っても、「ボク低血圧だからそんな時間に起きられないよ」

とハッキリ、NOが言える。ねだられるままにプレゼントをあげるだけの「貢(みつぐ)くん」や、タクシー代わりの「アツシークン」に比べれば気骨がある。そう、彼らには「男だって弱いんだ」と言ってしまう強さがある。

つまりギャル男というのは「男らしさ」の既成概念から解放された人たちのだけけれど、彼らが主流になったらオフィスはそりゃあ変わるよね。

へ日経産業新聞・

おふいす図鑑より

オジ化するギャルに、ギャル化する男。このまま傾向が進んで男女の立場が逆転するなんて事はないと思いますが、ヤングを相手にすることが多い「商売だけに、みなさんの店頭での対応にも、それなりの変化が要求されているようです。



紅茶もウーロン茶も マッチャオ

ワンスステイル〜ウ!



抹茶が今、若い女性を中心に人気を高めています。抹茶といえばもちろん、千利休の茶の湯で知られる緑茶。といっても、ベトナムのお茶の習い事はやっていないとか、自宅で手軽にお茶をたてて楽しんでるとかというわけではありません。

抹茶を素材に使ったお菓子や料理、食品が人気を呼んでいるのです。抹茶そのものは、さすがに二ガクで慣れた人でない限りなかなか味もよくわからないもの。せめてお湯で割った「おうす」なら……というものがふつうです。

しかし、素材として食品に利用すれば、美しい緑の色あいや香り、ホロ苦い味覚が生かせるわけです。こうした抹茶の使われ方は、何もごく最近に始まったことではなく、ご存じのようにアイスクリームやケーキなどで以前にもありました。しかし、東京・下北沢のあるフ

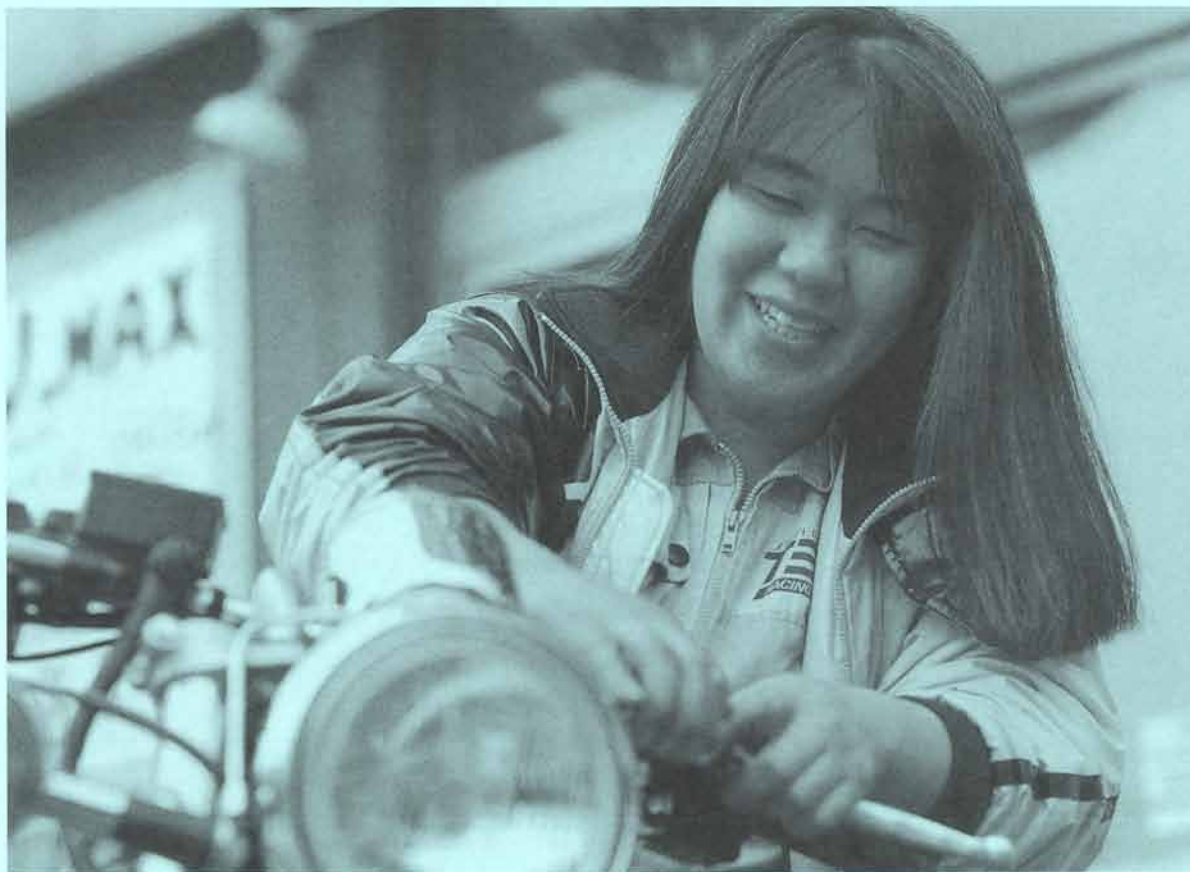
ランス料理店で本格的な料理素材として使われたり、甘味処で抹茶あんみつや、抹茶金時パフェなどが登場するに及んで、一気に抹茶はスターダムへの道をたどり始めました。このほか、抹茶クッキーや抹茶豆腐なども次々と商品化され、売り上げははずれも上々とか。

コーヒーと並んで定番化している紅茶や煎茶、番茶そしてウーロン茶などに比べて、やや地味な存在だった抹茶。ここへ来てメジャーの地位をうかがっているようです。ピタミンCを多く含む、甘さを抑えたホロ苦さが、女性たちのヘルシー感覚をとらえたことが原因でしょう。

たまには店頭でも、日本の上品さが香る抹茶の「おうす」でも出して見ては? 案外、若い女性客を獲得できるかも。

ダイヤの指輪より
スナップ・オンの工具がいいな!

武田照美さん(YSP三ノ輪/東京都荒川区)



ハイク屋さんの女性スタッフといえは受付や事務処理が仕事、なんて考えるのは早合点。武田照美さんは3級整備士とYTS・ヤマハ二輪車整備士認定制度、ベシッククラスの資格を持つYSP三ノ輪さんのバリバリ現役サービススタッフです。普通のOLからコベルニクスの転回で自動車整備の専門学校へと進路変更。卒業後、サービスを担当させてくれる店を探しまわり、現在のお店に就職して早や2年が過ぎ、今では店長の今村さんとチーフメカの鶴見さんに見守られ、立派なサービスマンとして、お客さまの大切な愛車の整備に取り組んでいます。

今でこそこうしてサービスを担当してはいますが、オートバイに乗り始めた頃は、愛車RZ125のリヤフレキ(ドラム)調整すらできなかったんですよ。そんな私がメカに興味を持ったのは、周囲の影響でしょうか。自分のバイクは自分でメンテする人ばかりだったんです。もともと自分の手を使って物を作りあげる仕事に憧れてましたから、思い切って会社を辞めて専門学校に通いました。もちろん両親には事後承諾ということで……。

今はもうずいぶん慣れましたけど、始めた頃はすべてが緊張の連続。エンジンのオーバーホールなど、作業中は無我夢中って感じ。組み立てが終わって始動するときなんて、もうドキドキ。かからなかったらどうしよう、焼き付いたら……なんてね。

OLと違いますから休日が友達と合わなくて、遊ぶ機会は減りましたが、平日なら道路はすいてるし、観光地もガラガラ。デイズニールランドも乗り放題って感じ。今はちょうど休みが合う友達もいますから、結構充実してますよ。

つらいことはほとんどありませんが、強いてあげれば手が汚れがちになることかな。あつそう指の関節が太くなって、今までの指輪が入らなくなったことくらいかな(笑)

お客さんの喜ぶ顔を見たとき、サービスをやっててよかったな」と感じるという武田さん。最近では彼女につくお得意さんの数も日毎に増えて、腕と信用度もアップ。今後は4サイクルエンジンに取り組みたいと意欲的に勉強中とか。「今はダイヤの指輪より、スナップ・オンの工具に憧れます」と明るく笑いながら言い切るほど、大いに仕事をエンジョイしています。

ご商売ヒント&ヒント

2

お客さまを魅きつけ、お店をグッと魅力的に見せるためのヒント集です。とても初歩的な内容でちょっと物足りないかも知れませんが、どんな活動にもそれぞれ基本はあるものです。お店のオリジナリティを加えて、さらに有効なものとしてご活用ください。



入学・卒業時のアプローチ

新しい生活がスタートしようとするとき、人は夢を膨らませ、胸をときめかせます。また、それに備えての消費活動も活発になります。

今回のテーマは、そんな生活の代表的な場面、「入学」と「卒業」という、春最大のセールスチャンス時のアプローチです。的を絞った効率的なご商売で、大きな成果を上げてください。

所有することの 利便性を 訴えましょう

高校、大学の入学、卒業者とターゲットユーザーは幅広く、どのバイクを勧めるかは、相手に応じてということになりますが、共通しているのは、新しく始まる生活にバイクを入れることで得られる具体的なメリットを伝えることです。

学生生活の中にあっては、通学やクラブ・サークル活動、バイト先への時間を選ばない、いつでも好きなときに乗れる移動の足としての利便性を伝えるのが有効です。

また、卒業して社会人・年生として巣立つヤングには、移動といった実用面だけでなく、プライベート時間を有効に、おしゃれに過ごすツールとしてメンタルな訴えかけも良いでしょう。

頼れるお店をチラシでアピール

新聞折込み、通学路での手配り、投げ込みと、チラシの配布方法も様々ですが、チラシは、DMと違ってターゲットである入学・卒業者だけにとどまらず、家族など複数の目にとまるものです。

バイクのある新しい生活の提案に加えて、購入後の定期点検サービス、乗り方指導といったお店のバイクライフをサポートする姿勢をきちっと伝え、交通社会へ入っていくお客さまの不安を取り除くことが必要です。

また、このことがバイクを乗り始めようとするお客さまや、その周囲の人へ信頼と安心感を与えることになるのです。

ご入学、ご卒業おめでとう!!

バイクのあるニューライフは
YSPOから!!



お客さまのバイクライフをサポートするサービス!!

- ★ 乗り方指導!
- ★ 無料安全点検!
- ★ 何でも相談室!
- ★ バイク.....
- ★

SALES

**C2大作戦は着々進行！
お客さまの受入れ体制を万全に**

いよいよ'90年ニューモデルが次々と登場し始めました！ お客さまへのDM発送はお済みですか？ 興味津々でお店に足を運んでくるお客さまも多いことでしょう。



せっかく来店されたお客さまです。しっかりと店頭を盛り上げを演出して、大いにニューモデルをアピールしたいものですね。そのためには効果的な展示車両の配置を考え、POP類も一新してインパクトある店飾を工夫してみてください。

また、研究熱心なお客さまに負けないよう、新車情報を充分身に付けておくことも必要です。こうした準備は直前になって慌てても、満足いくものにはなりません。今のうちに少しずつ準備を整え、いつお客さまからの反応があってもいいようにお備えください。確実な対応でより大きな収穫をものにしてください。

SAFETY

**大型二輪車の確実な運転技術を
習得するY.B.S.開講！**

2日間で約13時間、1人1台の本格的な実走練習をみっちり行ない、大型バイクを安全に運転できるテクニックが身につけられるヤマハ・ビッグバイク・スクール（Y.B.S.）。大型二輪免許取得に高い実績をあげていますが、今年もすでに1月から開講、数多くの参加者を集めています。今年、2月10日・11日の第2回

●'90年開講日程

第2回	2月10日(出)～11日(日)
第3回	2月20日(火)～21日(水)
第4回	3月13日(火)～14日(水)
第5回	4月7日(出)～8日(日)
第6回	4月17日(火)～18日(水)
第7回	5月15日(火)～16日(水)
第8回	6月9日(出)～10日(日)
第9回	7月10日(火)～11日(水)
第10回	9月11日(火)～12日(水)
第11回	10月13日(出)～14日(日)
第12回	11月10日(出)～11日(日)
第13回	12月8日(出)～9日(日)

KART

**さらに性能アップを図った
'90モデルが追加新発売！**

レーシングカートの定番マシンRC100S・SCが一層の充実装備で1月10日に新発売されましたが、1月16日にはF100Sサーキットカーレース用コンプリートマシン「F100」も'90年モデルが新登場。戦闘力アップのために、より空力特性に優れた新型フルカバードカウルを装着しています。

また、Sストックレース用のスベシャルフレーム「RS-1」も、上級車をイメージさせる大型バンパーに加え、一体型アルミホイールを装備、ブレーキ性能向上などを施して、2月15日より新発売されます。カートレースの世界を大きく広げる新製品としてご案内ください。

●ニューF100
メーカー希望小売価格：
449,000円（消費税別）



●ニューRS-1
メーカー希望小売価格：
209,000円（消費税別）



SUGO
RC100S製
F100R・SC用
レーシングキットパーツ発売！

ヤマハ車の各種レース対応キットパーツで高い実績と信頼を誇るRC SUGOから、FZR400RR・SP仕様向けレーシングキットパーツが新発売されました。ワークスマシン直系のハイポテンシャルを、サーキットで存分に発揮できるよう開発された新製品です。内容は、SPキットセットとF3キットセットの2種類。このほかにオブションパーツも豊富に用意されており、プロダクションレースに出場するお客さまをキメ細かくサポートします。よろしくご案内ください。

を含め、12月まで計13回を予定。
料金は、教材費、1泊3食付きで
37000円。1回の講習定員は25
名となっております。ステップアップ
をめざすお客さまに、ぜひご案内く

ださい。
詳しくは、ヤマハテクニカルセン
ター(☎0537-24-5195)
までお問い合わせください。



YES'S '90 YESS No.1カップシリーズ MP-16を新たに加えてスタート!

今年もYES'S主催によるミニバ
イクの全国シリーズ「'90 YES'S
No.1カップシリーズ」が2月4日、
中部地区2会場での第1戦を皮切り
に開幕します。11月10日・11日に予
定されるグラウンドチャンピオン大会
を頂点として、全国38会場で熱戦が
展開されるわけですが、今年の特徴

は、何といってもTZ50、TZR50
によるMP-16クラスの新設。従来
の人気クラスYSR50、TDR50に
加えて、より幅広いミニバイクレ
スファンへの期待に応えます。
これまで以上に大きな話題を提供
するNo.1カップシリーズへ、ぜひ多
数のお客さまをお誘いください。

AD

'90年2月のヤマハ提供番組

ONAN KOLL

海と陸、2つのフィールドを舞台
に展開する素晴らしいヤマハワール
ドを、スポーツマインドたっぷりな
みなさまにお届けする話題性豊かな
番組です。さまざまなカメラワーク
を駆使した美しい映像と、選び技か
れたBGMで、くつろぎのひとつき
をお楽しみください。

2月3日 ヘバイク編

『鉄馬を駆るカウボーイ』

2月10日 ヘマリン編

『50歳/ヨットからの青春』

2月17日 ヘバイク編

『雪原に舞う女・スノーモビル』

2月24日 ヘマリン編

『戦いを追う/添畑薫』(予定)

※一部地域では放送日が異なります。
テレビ北海道、テレビ東京、テレビ
大阪、テレビ愛知、テレビせとうち
/毎週土曜日18時30分から18時45分。
静岡放送/毎週日曜日10時30分から
10時45分。東日本放送/毎週土曜日
23時30分から23時45分、テレビ新広
島/毎週月曜日24時35分から24時50
分。RKB毎日放送/毎週日曜日24
時10分から24時25分。

オリジナルコンサート

私たちの創った世界

世界各国で精力的に活動を続けて
いる(株)ヤマハ音楽振興会「ヤマハ音
楽教室」そこで育った世界の子ども
たちによる自作自演コンサートの模
様をお届けします。日曜日の朝をす
がすがしく彩る純粋な音楽の響きを
ゆっくりとお楽しみください。

テレビ朝日系全国12局ネット。放
送日/毎週日曜日。放送時間/7時
30分から8時。



●SPキットセット
販売価格: 186,000円(消費税含まず)



●F3キットセット
販売価格: 310,000円(消費税含まず)

※取扱いにはRSS店のみとさせていただきます。
※本仕様は予告なく変更されることがあります。また、
このレーシングパーツはレース専用のものであり、一般
公道で使用することはできません。お客さまへのご指導
をよりしくお願いいたします。

SERVICES

着実に広がるスター店制度 シングルスター店94店が仲間入り

みなさんが日頃培われたサービステクニカルサービスは、ヤマハ車を扱うプロとしての誇りです。ヤマハでは、その技術力の高さをお客さまに証明し、またより以上のパワーアップを図っていただくために、ヤマハ・テクニカルサービス・スター（YTS）店制度を設けています。

すでに、全国で数多くのお店がシングルスター、あるいはダブルスター店として活躍されていますが、このたびさらに94店のシングルスター店が誕生しました。おめでとうございます！今後とも一層のサービス力アップでお店の信頼と実績をお築きください。

なお、サービスマンの方の技術力養成を図るヤマハ二輪車整備士講習会も全国8会場で開催中です。

●YTSヤマハ二輪車整備士講習会日程

会場	2月	3月
北海道ヤマハ	4M [B] 1-3 6-8	
ヤマハ東北	[B] [4M] [B] [B] (青森) 1-3 5-7 8-10 19-26/31(1日×3回)専売店対象	
研修センター 東京	[B] [B] [2M] [2M] 5-7 8-10 20-22 26-28	[B] [4M] [2M] 6-8 15-17 26-28
研修センター (ヤマハ中部)	[B] [B] [B] [2M] (岐阜) 7-9 19-21 22-24	[B] 6-8
研修センター 神戸	[B] 7-14-21+3/7(1日×4回)専売店対象	[2M] [4M] [B] 14-16 21-23 27-29
ヤマハ中国	[B] (岡山) [2M] (広島) 13-15 26-28	[2M] [4M] [B] 1-3 5-7 20-22 (広島)
ヤマハ四国	[B] (徳島) 13-15	
研修センター 福岡	[2M] 6-8	[B] 6-8

B:ベアシック 2M:2サイクルマスター 4M:4サイクルマスター
※都合により開催日の変更および中止をする場合がありますので、ご了承ください。

ヤマハ・テクニカルサービス・スター店制度シングルスター店、新規認定店のみなさん

- 北海道
CICLONE
ハヤシ商会
木下商会
- 宮城
YSP名取
YOU SHOP 黒松
- 千葉
YOU SHOP 京成
南ライダースショップ小見川
南ビットクルー本店
南ビットクルー千葉中央店
南エム・ディモーターサイクリス
オートショップ南平台
タレガハウス
サイクルハウス オカモト
- 群馬
南モトショップシロタ
中川輪店
- 栃木
YOU SHOP ベンタゴン
川口輪業
モトプラザジャンボ
南バイクショップ竹沢
柴田輪店

- 埼玉
モト・ショップ プレスト
- 東京
YSP 稲城
YSP 町田西
YOU SHOP トップ
YOU SHOP 佐藤
YOU SHOP 日東
南鈴木商会
オートボーイ SP
- 山梨
YOU SHOP 岡田
YOU SHOP フクダ
オートショップアインカワ
甘利モーターズ
- 長野
YOU SHOP みずの
YOU SHOP 上田・清水
- 神奈川
関東オート・ショップ
モトハウス リバティ
株オートセンターイリヤ鶴見店
株オートセンターイリヤ川崎店
南山上輪業
高田モーターズ

- 南昭進サービス
南モリサイクル
三雄自動車二輪
南藤崎モーターズ
- 新潟
小林ヤマハ
サイクルショップコバヤシ
- 静岡
レーシング・スポーツ
- 愛知
YOU SHOP バイクル
YOU SHOP 八百トメ
YOU SHOP SPACE
- 富山
YSP 高岡
- 石川
YOU SHOP 西村
- 大阪
YOU SHOP マスオ
YOU SHOP ウェノ
サイクルショップ八光
七尾自動車
バイクセンター大西
- 兵庫
YSP 西神戸

- YOU SHOP イマイ(山の街)
バイクハウス キノシタ
タナベオートセンター
濱田自動車商会六甲店
高見商会モーター部
ライダーズハーバー・カナヤ PART II
藤原自転車店
関商会 伊丹店
島本二輪館
- 京都
YSP 京都西
- 鳥取
YSP 鳥取東
- 島根
坂本自転車店
- 広島
YOU SHOP 世羅
- 岡山
タイショー
バイクプラザヤマノ
株式会社バドック
BIKESHOP ユクミ
- 山口
スミヨシサイクル
- 愛媛

- YOU SHOP トヨタ
- 福岡
YOU SHOP クラスター
YOU SHOP 相浦
久保山サイクル
かみつゆ自転車商会
二輪 SHOP 西武
- 佐賀
日高商会
- 長崎
バイクハウスひらさか
- 大分
松本モーターサイクル
高島商会
- 宮崎
YSP 学園前
- 熊本
YSP 蓮台寺
よしおか商会
- 鹿児島
YOU SHOP 中野商会
山下モーターズ
南瀬戸口近代車商会
バイクショップ ナリタ
南池田サイクル商会



●サービスマニュアル・資料新刊

商品名	注文No.	メーカー希望小売価格
FZR250R(追補版)	391166	800円
TZR250(追補版)	391167	800円
TZR250SP(追補版)	391168	800円
TZR50	391169	2600円
SRX400/600	391175	3000円
'89テレホンデータブック	390917	800円
車歴型式一覧表(追加)	390918	3000円
'89年度サービスデータ	390919	4000円

※消費税額は含まれません。

●在庫管理ボード (注文No.326515)
料定価格: 25,000円
セット内容: 管理ボード本体、キーボード、マグネットプレート(5種類×16枚)、キーカード(300枚)、ボード付属品(マーカー、マーカー消し、取付金具)

SERVICES

整備車両の進行管理がラクラク！ 在庫管理ボードをご利用ください

バイクハイシーズン、シーズンオフを問わず、一年中忙しいのが修理や点検のサービス業務。ことに、繁忙期ともなれば、お店の中はお預かりした車両でいっぱい、などということも多いため。そうなる大変なのは作業の進行管理。どの車はどんな状況か、キーはどれかなどを明確にしておくことが必要です。今回ご紹介する「在庫管理ボード」は、一度に16台分の工程を整理でき、しかも入庫、部品

待ち、完了、納車の各工程をマグネットプレートで示すようになっています。手間をかけずにわかりやすく表示できます。さらにそれぞれの車両のキーも整理番号とお客さまの氏名を記入したキーカードを付け、まとめて専用キーボードにかけて整理できるので、混乱することはありません。

スムーズなサービス実施のために、ぜひご利用ください。なお、幹旋はYSP、YOU SHOP、またはシングルスター店以上のお店に限らせていただきます。

優れた走行性能と熟成に高い評価
セロー2225が『キング・オブ・カー』
優秀二輪車賞を受賞！



各界著名人及び全国の読者による審査、投票などによって選ばれる『キング・オブ・カー』（主催ニッポン新聞社・後援毎日新聞社）の部門賞で、ヤマハスポーツSEROW 2225が'89年度の「優秀二輪車賞」に輝きました。

「走る場所を選ばず自然と親しむ道具としての万能ぶりではライバルなき存在。セルモーターの装備やタンク容量アップ、乗り心地の改善など、細部まで見直された進化のひとつとつが、ユーザーの利益に根ざしたうれしい熟成であった点を高く評価した」とは審査員を務めた二輪ジャーナリスト近田茂氏のコメント。1月16日都内で行なわれた表彰式には、審査員を代表して参議院議員猪木寛至氏や女優の三田佳子さんも駆けつけ祝福の言葉を述べていました。

読者投票総数は43118票、また審査員はプロ野球界、スポーツ界、芸能・音楽界から文化人、政・財界までを含め131名で構成され、この中には原辰徳選手や岡本綾子プロ、工藤夕貴さんらも名を連ねています。なお、審査員大賞には「セルシオ」（トヨタ）、大衆賞に「スカイライン」（日産）が選ばれています。



ヤマハマリンスポーツ ワールドを大公開する 『'90年ボートショー』

ここ数年、マリンレジャー人気の高まりを反映し、ますます注目度が増すボートショーですが、今年はさらに大規模な開催が予定されています。会場は東京と大阪の2カ所。2月11日～15日に東京・晴海国際見本市会場で、「第29回東京国際ボートショー」、そして2月22日～25日には大阪・南港インテックス大阪で、「第5回大阪国際ボートショー」がそれぞれ行なわれます。

ヤマハは、国内のマリン業界トップメーカーでもあり、どちらもメインブースを確保して、「海はスポーツ新大陸」をテーマに出展します。特に、出展業者数21社を数える東京会場には、最大最高級仕様を誇る大型パワーボート「YAMAHA 150 CANARY YMY」や大型クルーザーヨット「YAMAHA HA145」あるいは人気のマリンジェット最新



モデル「MJ1650SJ」、そして参考出展の「13mカタマランボート」など、話題のニューモデルを一堂に展示。雄大な海へのあこがれと夢を表現します。

また、大阪会場でも同様にパワー

ボートやフィッシングボート、ヨット、マリンジェットなど幅広い商品構成で、ヤマハマリンのすべてが目でわかるよう演出されます。ぜひこの機会にヤマハワールドのもうひとつの姿をじっくりご覧ください。

より高品質・高性能をめざし ヤマハ士別テストセンター開設

ヤマハは、スノーモビルを中心とした製品の品質、耐寒テストを、これまででは北海道士別市の南士別に設けられたテスト場で行なってきました。しかし、約20年間にわたる歳月による老朽化と、製品種類の増加もあって、昨年6月から西士別に新テストセンター建設を進めてきました。それが、ついに昨年12月に完成し、

開所式の運びとなりました。総敷地面積は1万2735㎡もあり、鉄筋造りの管理棟を備えています。今後は、ここでスノーモビルや除雪機、芝刈機、無人ヘリコプタなどのテストを行なうことになっています。充実したテスト施設をもって、さらに品質管理を徹底化するヤマハに二期待ください。





ハッピーウェディング！ おめでとう、田淵武選手

全日本モトクロス国際A級のヤマハワークスライダー田淵武選手が、昨年12月10日、平塚市でめでたく結婚式を挙げました。田淵選手は、'89全日本第8戦でヒート1、ヒート2を見事なダブルウィン飾るなどで大活躍。今年もヤマハワークスチームの中軸選手として、一層の飛躍が期待されています。

式にはチームメイトの光安鉄美、川崎智之両選手のほか、大勢のクラブ員、チームメンバーも顔を揃えて激励。新郎は「結婚を機にチャンピオンをめざして頑張ります！」と力強く宣言、新婦の由香利さんも「しっかり家庭を支えます」と語りました。ぜひ今シーズンも暖かいご声援をお願いします。

水陸両用ビークル登場？ 『マリンジェットカー』

なんだ？ マリンジェットにタイヤが4つ。水陸両用のニューマシン登場か、と早合点しては困ります。実はコレ、アメリカのヤマハ工場に勤める人たちが、昨年のアメリカ独立記念日のパレード用に作ったもの。その名もズバリ「マリンジェットカー」という、まるでスバイ映画にでも出てきそうなクルマですが、残念ながら水上航行はできません。しかし、ゴルフカーとマリンジェットの製造を担当する同工場らしく、マリンジェットのボディにゴルフカーのエンジンを搭載しての陸上走行はなかなかのもの。

将来、本当に水陸両用ビークルが出現するかもしれませんね。



パソコンが計時に大活躍！ YESSS神奈川 オフロードレース

YESSS神奈川が主催するオフロードレースは、3時間、90分エンディングのほかモトクロス125、オープンなど4クラスを行なって、毎月200〜300台の参加を集めて大盛況。数あるイベントの中でも、最も人気の高いレースとして定着しています。

ひと役買っている秘密兵器が計時用のパソコン。リザルトを公表する際に各ライダーごとのベストラップやワーストラップまで載せて掲示し、まじめなレース分析はもちろん、さまざまな話題を提供しているわけです。今年もシリーズ全4戦を予定していますが、もちろん、パソコンはまた正確で楽しいデータを記録して活躍することでしょう。



'90年ヤマハワークス体制決定!!

ロードレース

▲エディ・ローソン



▲クリスチャン・サロン



▲ジュアン・ガリーガ



▲ルカ・カダローラ



▲平 忠彦



▲町井邦生



▲本間利彦



▲藤波悠二



▲ウェイン・レイニー



▲ジャン・フィリップ・ルシア



▲ジョン・コックスキー



▲アルベルト・プーチ



▲藤原義彦



▲片山信二



▲藤田哲也



最強の布陣でシリーズに挑みます

昨年、国内外のレースで数々の史上に残る激戦を展開。タイトル獲得はもちろん、常に話題の中心に位置し続けたヤマハ。'90年シリーズも熟成されたマシンと最強の布陣で頂点を目指します。どうぞご期待ください。

●ロードレース

注目の世界グランプリでは、エディ・ローソンがヤマハに復帰。ケニー・ロバーツのもと、昨年タイトルを争ったウェイン・レイニーとコンビを組みます。この2人にクリスチャン・サロン、さらに2500からステップアップしたジャン・フィリップ・ルシア、ジュアン・ガリーガが加わる最強の体制となりました。

そして2500ccクラスでは、ジョン・コックスキーがいよいよフルエントリーします。ルカ・カダローラ、そして新鋭アルベルト・プーチが駆る3台のYZR250がタイトル奪還を目指します。

全日本では500、250、F1の3クラスにワークス体制を組みます。500ccクラスには、昨年同様スポット参戦の平忠彦をはじめ、4年連続タイトル獲得を目指す藤原義彦ら4選手が出場。

250ccクラスでは2度目のタイトルを目指す本間利彦がYZR250で、F3から転向の福智学を加えた4選手が、ワークスマシンと同等のポテンシャルを持つTZ250で参戦。F1クラスは昨年同様、永井康友、加藤信吾の若い2人がYZF750を駆ります。



YAMAHA Racing Express



▲伊藤敦志



▲中川義博



▲山村茂



▲田淵武



▲光安鉄美



▲デーモン・ブラッドショー



▲ベッカ・ペコーネン



▲五井康友



▲進藤俊伸



▲鈴木健二



▲増田智義



▲川崎智之



▲ダグ・デュバック



▲ベッカ・ペコーネン



▲加藤信吾



▲福智学

モトクロス

●ロードレース				
	クラス	ライダー	運営チーム	マシン
世界選手権	500	エディ・ローソン	チーム マールボロ ヤマハ ロバーツ	YZR500
		ウェイン・レイニー	チーム マールボロ ヤマハ ロバーツ	YZR500
		クリスチャン・サロン	ソノトチーム コロワーズ ブロンズ ヤマハモーター	YZR500
		ジャン・フリップルルジヤ	ソノトチーム コロワーズ ブロンズ ヤマハモーター	YZR500
		ジュアン・ガリーガ	ドカドス ヤマハ	YZR500
500	250	ジョン・コシンスキ	チーム マールボロ ヤマハ ロバーツ	YZR250
		ルカ・カダローラ	マールボロ ヤマハ チーム アゴスチーニ	YZR250
		アルベルト・ブーチ	ドカドス ヤマハ	YZR250
全日本	500	平 忠彦	ヤマハレーシングチーム	YZR500
		藤原儀彦	ヤマハレーシングチーム	YZR500
		町井邦生	ネスカフェ レーシングチーム ヤマハ	YZR500
		片山信二	レーシングチームUCCヤマハ	YZR500
500	250	本間利彦	レーシングチームUCCヤマハ	YZR250
		原田哲也	ネスカフェ レーシングチーム ヤマハ	TZ 250
		難波恭司	ヤマハレーシングチーム	TZ 250
		塩森俊伸	クリンメッツ レーシングチーム ヤマハ	TZ 250
		福智学	クリンメッツ レーシングチーム ヤマハ	TZ 250
TTF	750	永井康友	ヤマハレーシングチーム	YZF750
		加藤信吾	ヤマハレーシングチーム	YZF750

●モトクロス				
	クラス	ライダー	運営チーム	マシン
世界選手権	250	ベッカ・ペコーネン	Y.MEN V チーム	YZ250M
A.M.A.	250	ディモン・ブラッドショー	Y.M.U.S チーム	YZ250M
		ダグ・デュバック	Y.M.U.S チーム	YZ250M
全日本	250	光安鉄美	ヤマハレーシングチーム	YZ125M/YZ250M
		川崎智之	ヤマハレーシングチーム	YZ125M/YZ250M
		田淵武	ヤマハレーシングチーム	YZ125M/YZ250M
		増田智義 (S)	チーム YZ	YZ125 / YZ250
		山村茂 (S)	チーム YZ	YZ125 / YZ250
		鈴木健二 (S)	チーム YZ	YZ125 / YZ250

●トライアル			
	ライダー	運営チーム	マシン
全日本	伊藤敦志 中川義博 (S)	ヤマハレーシングチーム ナンバーワントライアル	TY250R改 TY250R改

(S) はサポートライダー



●モトクロス

世界選手権には250ccのみ、'89ランキング2位のベッカ・ペコーネンが参戦。タイトルを狙います。アメリカのA.M.A.シリーズには、SX東部125ccクラスチャンピオンのディモン・ブラッドショーと、A.M.A.500ccクラス4位のダグ・デュバックが、SX250、A.M.A.250の両クラスに出場します。そして昨年シリーズを沸かせた全日本では、光安鉄美、川崎智之、田淵武のワークス勢に加え、若手3人がサポートライダーとして、チームYZからエントリーします。

●トライアル

3度目のタイトル獲得を狙う伊藤敦志はヤマハレーシングチームから、中川義博はチームナンパーワントライアルから、TY250R改を駆り参戦します。



もうすぐバイクシーズン開幕 バイクも体も慣らし運転!



この冬は、寒さの訪れが遅く、雪国を除けば比較的過ごしやすい日が多いようです。このまま一気に春へと向かえばいいのですが、春近しとはいえ、まだ季節は全国的に冬。寒の戻りや季節はずれの雪もありますから、くれぐれも天候に注意するようアドバイスをお願いします。

さて、だんだん暖かくなるにつれ、冬の間しばらく休眠していたライダーも、春の風に誘われるように再び走り始めます。ところが、それにつれて事故の数も増えてくるもの。単純に、街を走っている台数が増えるからというだけではなく、ライダーの気負い過ぎにも原因があるようです。

ようやく冬が終わり、待ちかねたバイクシーズン到来、とばかりにホコリをかぶっていたバイクをひっぱり出して飛び出して行ったところが、体の感覚やバイクそのものも、冬眠している間に調子が狂ってしまっていて転倒…。みなさんやお客さまの中にも思いあたる人がいるのではないのでしょうか。バイクについては、乗らなくなるときのきはオイルを差したりして



おくことがベスト。そして、また乗り始める前に念入りな運行前点検をするよう、アドバイスしてください。来店を促すためのきっかけづくりを兼ねて、点検をうながすDMを出すのも方法のひとつです。

また、体がライディングの感覚を思い出すまで、スピードの出し過ぎやラフな操作は特に危険です。ブレーキのタッチやアクセル感覚、コーナリングのタイミングなどをじっくり確かめながら、初心者に戻ったつもりで運転するよう呼び掛けてください。

バイクシーズンが始まる直前の今だからこそ、こうした気配りは効果的です。ぜひご協力をお願いします。

静かにやさしく、いい運転。

ノーマルマフラー運動実施中

限られたスペースの 200%活用法

YOU SHOP SHODA / 庄田栄夫社長
 神奈川県海老名市国分寺台2-5-27 ☎0462-32-5500



オープンスペースにずらりと揃ったスクーターは、表通りへのアピール度も高い



わずか12坪のショールームながら、奇抜なアイデアを盛り込んだ昨年3月の改装で、200%の活用成功した「YOU SHOP SHODA」さん。その成功の秘密は、日頃からお客さ

まの傾向を読み取る庄田社長の観察力にあるようです。新しくなったショールームで迎えた'90年代。庄田社長の「時代に合った店づくり」へのチャレンジは、まだまだ続きそうな気配です。



「時代に合った店づくり」をモットーに、改装は庄田社長、チエ子奥さまの綿密な相談によって実現しました

ニューモデルにはぜいたくにスペースを割き、注目度を上げる



ショールーム壁面に貼られたミラーが、
店内の解放感を演出

コミュニケーション機能を満載 くつろぎ度重視の新ショールーム

「ここ数年のお客さんの傾向を見ると、どうも若い男性客におとなしい人が増えているようなんです。昔よくいた「俺が、俺が」というタイプが減って、こちらから話しかけないと上手く会話もできないみたいです」

バイクショップを始めて17年。お客さまの変化を肌で感じてきた庄田社長が昨年3月に店舗の改装を試みたのも、こうした消極的なお客さまへの対応を考えてのことです。改装の内容はお客さまとのコミュニケーションに重点が置かれ、店内各所にさまざまな工夫がなされています。「まず手をかけたのが接客カウンターです。正面入口にできるだけ近くセットして、スタイルもL字型に変えてみました。こうすることでいつもお客さんと顔を向きあわせていられるようになりますから自然と会話も弾むようになるんです。それに複数のお客さんが来店している時、お客さんの前を離れて一方のお客さんの方に行くのは気が引けますよね。ところがこのスタイルなら、同じ位置にいても二人のお客さんの相手ができるわけなんです」

さらに日常業務を行なううえで必要なドレステレホンやファクシミリ、電話、キャッシュヤーなどもカウンター奥の棚に整理され、事務処理の最中でも接客に当たれるメリットも生まれました。また、改装時に採り入れられたモニターテレビからは常に軽快な映像が流れ、こちらもくつろぎ空間の演出に欠かせない要素となっています。



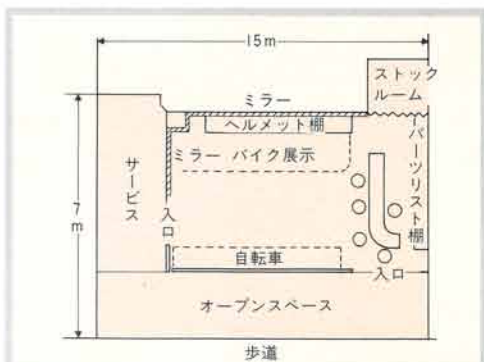
ヘルメット棚は「アダルト」「リミテッド」「リッチ」「レディス」など、6つのジャンルに分類



プロモーションビデオの流れるモニターも、くつろげる店舗づくりに一役



接客から事務処理まで機能的にこなすL字カウンター



＜お店のデータ＞

- オープン：昭和47年にオープン。57年に現在の場所に移転。平成元年3月に改装オープン
- 店舗規模：敷地面積40坪、建坪20坪（ショールーム12坪、サービス8坪）オープンスペース20坪
- 展示台数：50台（店内4～5台）
- 立地：世帯数約30,000、人口100,000人の海老名市に立地。周辺は首都圏へのベッドタウンとして人気の新興住宅地

- 商圏：海老名市、綾瀬市が商圏に入り、主力はお店から2km圏内
- 客層：VOISで管理する650名の顧客のうち、16～20才のヤングと主婦層で7割。残り3割は通勤用にバイクを使う40代男性ユーザーからになる。
- 告知活動：チラシ（1回約21000枚年7～8回）、DM
- 営業：毎週火曜日定休（午前10:00～午後8:00）
- スタッフ：2名（社長、奥さま）

「改装の前は店が狭い分、ずいぶん圧迫感があったんですが、ミラーを入れたことでかなり解消できたと思います。お客さんも、ゆったりとした雰囲気になった」と言ってくれますし、こういう気分でお客さんが滞在してくれるということは、先程お話したコミュニケーションの向上にも結びついてきますからね」

お客さまの傾向をつぶさに研究し、それを店づくりに生かしていきたいという庄田社長。次のステップでは、女性にとっても居心地のよい店を目指していきたいと、明るく語ってくださいました。

壁面ミラーがゆとり感を倍增

決して広いとはいえない12坪のショールームを、できる限り有効的に使うことも今回の改装の大きな目的でした。

実質的なスペースはオープンスペースに展示車両を移すことで、店内展示を整理することで解決。さらに見た目のゆとり感を出すために用いられたのが、2面の壁に貼られた大きなミラーです。

THE LATEST AD

YAMAHA

ホンモノがほしかったんだ。

カッコが良ければ、気分がいい。中身が良ければ、楽しさも大きい。
だから、いつでもホンモノをつぎたい。そんなボクらが持っていた。
すごいマシンが現われた。YZR50。50cc初の、フルサイズ本格スポーツマシン。
ボクらを夢中にさせてくれた。スーパーフィフティの誕生だ。

ここがホンモノ①

50ccでは初めてマイコン制御デジタル点火方式を採用したスポーツエンジン

スポーツ走行でイチバン楽しさを左右するのが、エンジンの回転。YZR50のエンジンは、新しい加速が自慢の2ストローク・水冷・ピストンリードバルブエンジン。50ccで初めてマイコン制御デジタル点火方式を採用しているのも、ホンモノの証しだ。

ここがホンモノ②

高剛性フレームと前後ディスクブレーキを採用、フルサイズスポーツボディ

エンジンのパワーを最大限に活かすには、ボディが重要。TZR50はフロント18、リア17インチのフルサイズボディに高剛性フレームを採用。さらに前後輪にディスクブレーキも装備している本格派。これが、ホンモノのスポーツボディ。

ここがホンモノ③

スラントノーズのフルフェアリングを身に付けたスポーツスタイリング

特徴は、カタチに現われる。だから、本格的なスタイリング。精悍なスラントノーズフェイスのフルカウリングやシートのカウル、アルミ製のハンドルクラウンやフロントレストも質次に採用。細部まで、ホンモノのホンモノだ。

2月14日発売

New **TZR50**

SPECIFICATIONS

※A-JTU ※ENGINE TYPE: 2-stroke, Liquid-cooled, Single ※DISPLACEMENT: 49cc ※MAX. POWER: 7.2ps/9,000rpm ※MAX. TORQUE: 0.6kg-m/7,000rpm ※DRY WEIGHT: 63kg ※BOPS & STROKE: 40.0 × 26.7mm ※COMPRESSION RATIO: 5.2:1 ※TRANSMISSION: 6-speed constant mesh ※OVERALL LENGTH: 1,875mm ※OVERALL WIDTH: 800mm ※OVERALL HEIGHT: 1,025mm ※RUBBER: 3-spoke ※PENION (FRONT): Telescopic forks ※REAR: Mono-cross suspension ※COLORING: White/Fluo red, Yamaha Black ※**¥269,000**

Super fifty

静かにやさしく、いい運転

※静かにやさしく、いい運転。エンジンの回転が静かであること、加速がスムーズであること、ブレーキが効くこと、ハンドリングが安定すること、などが、いい運転の要素です。

ヤマハのイメージカラーは、白と赤です。また、黒もよく使われています。

※TZR50新発売キャンペーン

TZR50 グルーミングセットプレゼント

3月末日までTZR50ご購入の方に、ワックス・ポリッシュ・クリーナーなど、計5点をセットでプレゼント。TZR50グループセット、をもれなくプレゼント。数量もいつの間にかに。



- YZRゆずりのレーシースタイル。コンペティションマシンTZ50と同時開発によるフルサイズならではの走行性能、操縦性。すべての面で本物の作り込みを施したスーパーフィフティ®TZR50®の二輪専門誌広告です。
- 元気なヤングの本音に応えるTZR50。どうぞこのニューモデルの魅力のすべてを店頭でも十分にご説明いただき、スポーツバイク底辺需要の活性化と拡大をお願いいたします。